

おうみ未来塾

～ 地域をプロデュースするとは ～



第13期生 成果報告書

目 次

おうみ未来塾の紹介.....	1
塾長・アドバイザーからのメッセージ.....	2
おうみ未来塾第13期生17名の自己紹介	6
おうみ未来塾第13期生のあゆみ	24
グループ活動.....	36
キモチカエル@兵主.....	37
草津ファン☆プロ.....	55
base Otsu_cross	75
淡海ネットワークセンター事務局より.....	97
卒塾の言葉.....	99
タイトルについて・編集後記.....	100

おうみ未来塾の紹介

「おうみ未来塾」とは

市民活動やNPOが地域運営の一翼を担う時代となった今、創造力とネットワーク力により、企業や行政だけでは解決できない地域課題に取り組む人が求められています。

おうみ未来塾は、こうした地域課題に取り組む「地域プロデューサー」が育つ塾を目指しています。

地域プロデューサー

「地域プロデューサー」とは、地域の課題を発見し、解決のための方策を考え、そのための活動や事業をおこすことができる人、言い換えれば、課題発見力・政策形成力・実践力を兼ね備えた人です。おうみ未来塾では、地域プロデューサーに求められる、コンセンサス能力・ネットワーク形成力・マネジメント能力を向上させることを中心に取り組みます。

おうみ未来塾の特徴

- (1) 塾生の主体的な参加による塾活動を行います。カリキュラムの骨格を示しつつ塾生の意向と状況を踏まえ、柔軟性のある「可塑性をもったカリキュラム」を基本としています。
- (2) 地域や分野、所属、世代を超えた多彩な塾生で構成します。地域を創る共通の思いを持つメンバーが、グループワークやディスカッションを重ねながら互いに高めあっています。
- (3) 講義を聴くだけでなく、市民活動やNPO・まちづくりの実践の現場のフィールドワークを通し、草の根から地域や社会を変えるものの見方や考え方を学びます。塾活動後半には、地域プロデューサーのための実践を学ぶ場としてグループ活動を行います。
- (4) 地域や市民活動のキーパーソン、企業や行政、また、それぞれの地域で活躍する卒塾生など、多様な主体との幅広いネットワークづくりを目指します。

カリキュラム

【基礎実践コース（6月～12月の、約6か月）】

地域活動の実践現場の視察やフィールドワーク及び講義を、概ね月1回程度行います。

【創造実践コース（翌年1月～12月の、約12か月）】

フィールド（活動場所）やテーマ（地域課題）により、塾生数名からなるグループを編成し、地域資源の考察、課題解決のための実践活動を行い、中間報告会・成果発表会を行います。

運営委員会

- ・塾長：北村 裕明（滋賀大学 理事・副学長）
- ・アドバイザー：岡崎 昌之（法政大学名誉教授、地域づくり団体全国協議会会長）
岸田 眞代（NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事）
藤井 絢子（NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表）
（※肩書きは、2016年3月現在）

お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

TEL: 077-524-8440 URL: <http://www.ohmi-net.com/>

塾長・アドバイザーからのメッセージ



おうみ未来塾 塾長
(滋賀大学 理事・副学長)

北村 裕明

地方創生から地域創生へ

人口減少社会の地域政策として、「地方創生」という言葉が流布しています。しかし、「地方」という言葉は、中央への対応語にすぎません。人口減少社会という時代の大きな転換期において、地域づくりをすすめるには、地域のこれまでの営み、現在の営み、地域内及び地域間の交流、地域の持つ多様な資源を手がかりに政策を展開しなければなりません。こうした「地域」のもつ豊かさと多面性を再発見し活かす地域づくりこそが求められているのです。したがって、「地方創生」ではなく、「地域創生」という言葉がふさわしいのでありましょう。

そして、地域創生を担うリーダーが地域プロデューサーであり、地域プロデューサーが育つ塾をめざして、私たちはおうみ未来塾を運営してきたのです。

おうみ未来塾13期の皆さんは、前半の基礎実践コースの中で、いくつかの優れた地域づくりにおける、地域資源の発見と活用の事例を学ぶことができたでしょう。そして、後半の創造実践コースの「地域プロデューサーのためのグループ活動」で、実際の地域と向き合い、地域の人々と語り合いながら、地域資源の発見と、活用のための政策づくりと、事業の実施に取り組んできました。卒塾発表会における皆様方の取り組みへの地域の方々のコメントは、皆様方の取り組みに、地域の人々が共感していること端的に示すものでした。

人口減少社会における地域政策は、従来のような地域における量的な成長を求めるのではなく、地域の持続可能性、生活の質の向上、信頼と安心のネットワークづくり等を目標とすることになるでしょう。おうみ未来塾で学んだことを生かして、皆様方が、地域創生の活動に取り組まれることを期待するものです。



おうみ未来塾 アドバイザー
(法政大学名誉教授)

岡崎 昌之

地域の将来は、地域の過去、歴史の蓄積の中にこそ存在している。

現在ではもう絶版になってしまったようですが、かつて国土地理院が発行する地図に「日本とその周辺」という300万分の一の地図がありました。ちょうど新聞を見開きにして、縦に伸ばした大きさです。右上に択捉島から始まる北方4島が位置し、左下には八重山列島の与那国島や波照間島が記されています。

択捉島から与那国島まで、この地図を斜めに物差しで測ってみると、丁度1メートルになります。300万分の一の縮尺ですから、3千キロメートルということです。北東から南西に至る日本列島は多くの島々を抱えながら、3千キロメートルに渡って太平洋に位置し、東京から南1千キロには小笠原諸島が位置しているのです。

旅行ガイドブックで著名なミシュランが、同じ300万分の一のヨーロッパ全図を出しています。それを広げて1メートルの物差しをあててみました。ヨーロッパ大陸の西の端、イベリア半島ポルトガルの首都リスボンに一端を据え、北東に伸ばしていくと、物差しの端は、なんとスウェーデンのストックホルムまで届きます。現在では何もこんな面倒くさいことをしなくても、国土地理院のHPから世界の地図がダウンロードでき、簡単に地図上の距離が計測できるので、試しにやってみてください。ちなみにリスボン〜ストックホルム間を飛ぶ飛行機は、ポルトガル、スペイン、フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ、デンマーク、スウェーデンの8カ国の上空を通過することになるようです。この3千キロの広がりには多様な言語、文化、歴史が内包されているのです。

日本列島3千キロも決してそれに劣るものではなく、かえってヨーロッパのそれを凌駕するものだと思います。今年報告のあった野洲の兵主大社は1300年の歴史を持っているとのこと。その周辺にはそれ以上の歴史を持った集落が存在し、兵主兼を作ったり、ピワマスを採用したりしてきたのです。3千キロの中には、このように多様で、様々な生活文化、暮らしの技、住まい方の工夫といったものが、地域ごとに凝縮して存在しているのです。地域づくりとはこうした地域の特性や価値を的確に見出し、将来に向けて位置付けることではないでしょうか。



おうみ未来塾 アドバイザー
(NPO法人パートナーシップ・
サポートセンター代表理事)

岸田 真代



おうみ未来塾 アドバイザー
(NPO法人菜の花プロジェクト
ネットワーク代表)

藤井 絢子

困難はど〜んと引き受けよう！

第13期生、ご卒業おめでとうございます。

入塾式の少し戸惑ったような不安げな様子と異なり、晴れ晴れとした皆さんの顔が、美しくたくましく輝いて見えます。

人によっては短くもあり長くも感じたであろう1年半という月日は、人生のほんの一コマに過ぎないものの、しかし確実に一人ひとりを変えていったと思います。

チャンス、チャレンジ、チェンジ・・・おうみ未来塾の13期生というチャンスをものにし、基礎実践、創造実践を通じて未知のフィールドに飛び込んでいったチャレンジ精神は、いろんな困難や喜びに遭遇して、確実にあなたをチェンジしていったことと思います。

成長はチェンジなくしてあり得ません。

心が変わる。考え方が変わる。そして行動が変わる。・・・おそらくすべての人が、入塾前と比べて【変化】しているはずです。

その変化、チェンジこそが成長の証であり、未来塾に在籍した者の強みなのです。

涙も見ました。笑顔も見ました。怒りにも遭遇しました。

いいことばかり続くはずがありません。でも悪いことばかりでもないのです。

どんな時も自分らしさを失わず、困難はど〜んと引き受け、喜びはみんなで分かち合う。

そして、逃げずに困難を引き受けた者が大きく成長していくのだと。

それが地域プロデューサーなのだ——。

きっとそんなことを、1年半の間に学んだのではないかと想像しています。

さあ、これからです。その学んだことを十分発揮するのは!!

今、この国の空気を、どう感じていますか？ 方向を正すのは"地域"を創り直すプロデューサーの出番！

おうみ未来塾13期生の皆さま、卒業おめでとうございます。


この18ヶ月間、共に学び、議論し、悩み動いた塾生、一人ひとり、この時間の中で、どう変わったと感じていますか？いろいろな思い起こすこと甦りますが、でも"地域"と自分を重ね、入り込み、試行錯誤しながら充実感も獲得したと思います。"地域"の魅力に気づき、どれだけ惚れ込み、可能性をつなげる事が出来たか、どうかは、チームの力、チームメンバー個々の持ち味を引き出せたかどうかで、差が出たのでしょうか。少なくとも、一人の能力によるのではなく、チームの仲間と共に動く事、自分の内なる能力の見えない部分も発見があったと思います。それが、チームで創り出す、おうみ未来塾"地域"プロデューサーの魅力です。

"地域"で動く、ワクワクします。秘められた宝の山に出会うことの連続ですから。そこに住む人々にとっては「な〜んも無い」事が、とんでもない！と感じ、気づくヨソ者の目が入る事で化学反応が次々起きる。まさに、土の人(地域の人)と風の人(ヨソ者)が創り出す妙味です。講評の中でも度々伝えたように、土の人、風の人だけでは足りない。水の人(つなぐ人)、光の人(羅針盤の役割)が揃ってこそムーヴメントになると実感しています。

さて、去年は琵琶湖にとってBig Yearでした。文化庁が選んだ「日本遺産」に、「琵琶湖とその水辺景観 — 祈りと暮らしの水遺産」が認定され、又、国民共有の資産と位置づける法律(琵琶湖保全・再生法)が成立したのです。この、琵琶湖と共に在るフィールドで活動できる。そのことを先ず塾生の皆さん、誇りに思ってください。琵琶湖の存在、琵琶湖周辺を巡る道々、湖上周航、森・里・田畑・湖のつながり、そこに生み出されて来ている歴史、文化、人々のいとなみ等が、暮らしのそちこちに生きている。こんな多様な豊かな地域を擁している近江。中央の政治状況が、これまでに無く危うい今、新しい価値の創造・豊かさを、近江から発信しましょう。おうみ未来塾プロデューサーの活躍の時です。



おうみ未来塾第13期生17名の自己紹介

名前	あだちみのり 安達 みのり	居住地	甲賀市	
グループ	キモチカエル@兵主			

★プロフィール

- ・キモチカエル@兵主の副代表
- ・本業は、甲賀市にて「子育て応援団体 CHEERS STATION」代表
- ・3児の子育てに日々奮闘、且つ地域で活動活躍するには！を日々勉強中


★基礎実践コースからの学び

今までの私は、こんなことやりたい！思いが先行するばかり。地域の課題を問題意識することもなかった。また地域の宝にも目を向けることもなかった。が、それぞれの地域にはそこにしかない課題と宝がある。それは、そこに暮らす人たちの言葉や思いに寄り添いながら、まずは地域を知る！地域を好きになる！ことからスタートする。そうしてコミュニケーションを取り、繋がりを深めていながら、地域の方々と共に、課題解決の為の行動を起こし活動していく。地域プロデューサーには、そんな広い視野と行動力が必要で、また1人では何もできない！それぞれの強みを生かすことで、できないことができる可能性に繋がり、その過程で益々繋がり、連携が深まる。

★創造実践コース（キモチカエル@兵主活動）からの学び

あっという間の1年のキモチカエル活動。良き地域と良き仲間にも恵まれ、本当に幸せで充実時間だった。地域診断法から導かれるように活動拠点となった「兵主大社」。そこから、兵主蕪の復活に取り組まれていること、2018年には鎮座1300年の大祭があることを知り、我々の思いが加速した。つまり、「宝」を見つけた。

そして、地域のキーパーソンと繋がりを頂いたこと、何よりも兵主大社の井口宮司様の多大な協力を得られたことが、私たちにとって大きな力となった。しかし、子育て世代との繋がり作りや参加促進の難しさ、活動の中でメンバー間の思いを共有することの難しさを感じることもあった。が、地域の方々が集まる場に自らが行き(10/24 収穫祭出店)、交わり、発信することにより、兵主マルシェにはたくさんの家族連れの参加が見られた。またWS(ワークショップ)やイベント等を準備、開催していく中で、自然とメンバーそれぞれの個性や強みが出て、役割分担できるようになった。それには、当グループのリーダーの力と人に寄り添う力のあるメンバーだったからだと思う。メンバーにも感謝の気持ちでいっぱい。まだまだ課題を抽出し、改善策を行動に起こしていく必要性もある。が、何よりも私たちは兵主大社を中心とする「兵主」が好きであること、そしてその兵主の宝である「兵主大社」と地域の人たちを大事にしたい、盛り上げていきたい思いを持つことができた。兵主地域の方々に感謝し、これからも地域の方々の思いに寄り添いながら共にコトを作り上げていく楽しさを共有していきたい。

名前	いしもと えつこ 石本 恵津子	居住地	草津市	
グループ	草津ファン☆プロ			

<プロフィール>

1997年に京都から草津に引っ越して来て「草津大好き♥人間」になる
 えふえむ草津パーソナリティ
 草津宿場まつりやパワフル交流実行委員
 カルチャー&コミュニティサロンやわくわくマルシェ運営 <http://wkwk-salon.com/>
 日本健康麻雀協会認定レッスンプロ
 2015年第4回世界麻雀選手権大会個人25位

<おうみ未来塾入塾の動機>

えふえむ草津で仕事と夢をキーワードにお届けする「えつこの部屋」にゲストの方をご紹介頂いているのが、10期生「仕事人と語ろうグループ」の松原さんと小中さん。
 私も先輩のように、この塾で地域プロデューサーについて学び、卒塾後も継続して行ける活動を実践でやりたいと思いました。


<おうみ未来塾での学び>



座学での専門の先生方からのお話、現地での見学と講話、宿泊研修、先輩たちの活動事例すべてが学び多いものでした。
 実践において私の大好きな草津という地元の地域で活動するグループ<草津ファン☆プロ>が結成された時の喜びは忘れられません。
 悩み遠回りしながら、そのたびに先輩たちや淡海ネットワークセンターの方々から熱意あるご指導ご協力を頂き今があります。貴重な経験をさせて頂き心から感謝しています。
 卒塾後も同期をはじめ先輩・後輩との繋がりを大切に活動していきたいと思います。

<これからの抱負>

<草津ファン☆プロ>は2016年度、草津市の市民まちづくり提案事業に広報課との協働を提案し採択されました。新たに色々なメンバーを仲間に迎えて、一緒に楽しく草津での暮らしをより豊かにする情報発信や企画をしていきます。
 Facebook<草津ファン☆プロ>で情報発信していますので、ぜひチェックしてみてください。
 高齢になっても、単身赴任になっても、ひとりでも楽しく仲間づくり出来る場がある安心して暮らせるまちづくりを、地域プロデューサーとして目指していきます。

名前	いとう だいすけ 伊藤 大輔	居住地	草津市	
グループ	キモチカエル@兵主			

■【プロフィール・入塾の動機】

奈良県天理市出身。大阪のスーパーの鮮魚部門で3年働いた後、仕事の都合で2014年4月に滋賀へ。おうみ未来塾11期生であり、格安切符自販機の運営会社で代表取締役社長の尾賀から、おうみ未来塾13期生のことを知り、滋賀のことをもっと知りたい、学びたいという思いから参加しました。

■【キモチカエル@兵主での活動】

琵琶湖から近く、環境・食に恵まれた野洲市兵主地区で、複数回の料理教室そして地域の収穫祭に出展し、11月23日に活動の集大成となる兵主マルシェを実施しました。それぞれのメンバーが持ち味を出しあって、兵主地域の方々に貢献できる活動を形に出来たことが嬉しいです。兵主大社の井口宮司の多大なるご協力のもと、兵主大社を中心に、じゅんじゅん(すき焼き)やビワマスパン、兵主丼など食を通して地域の方々にその魅力を知って頂ける機会を作れたと思います。

■【おうみ未来塾で得られたことー今後に向けてー】

地域活動といえば地域のごみ拾いや短期間のボランティア活動に参加したくらいでしたので、本講座で活動の中心となって頑張っておられる方々から聞けるお話は、新鮮で興味深かったです。何より、皆さん輝いていた。

これらの方々に共通していると感じたのは、「まずやってみる」ということ。皆さん最初は数人、もしくは自分1人で始めてどんどん人を巻き込んで、形になっていった方が多かったです。キモチカエルの活動では「まずやってみる」の精神でいきたいと思っていて、実際この短期間でも地域の方々を巻き込んだ行動をできたことが嬉しい。

ここで学んだことを活かして地域の活動に目を向けて、参加したいと思っています。家族が出来たら、何より家族と参加したい。子供に地域を愛して欲しい。未来塾の活動を通して私の地元である奈良県の天理、いま住んでいる草津、そして兵主地域がより好きになったことが1番の学びです。

名前	うなぎ じゅん 宇那木 潤	居住地	大津市	
グループ	草津ファン☆プロ			

☆プロフィール

24年前に大津から九州の佐賀に会社の異動により転居し、15年ぶりの本社復帰に伴い、自然と大津を終の棲家を選びました。

佐賀では、熱気球のクラブと町おこしグループの立ち上げに参加する事が出来地域とのつながりの大切さ・楽しさを実感していましたので後ろ髪を引かれながら帰って来ました。

私の人生は『津』と縁があります。

「津山（岡山）」「大津」「牛津（佐賀）」「大津」そして「草津」

☆おうみ未来塾入塾の動機

大津に帰って来てからすぐにでも、地域で活動したいと思っていましたが、慣れない仕事でありまた当初は勤務地が大阪市内と遠かったこともあり休日は『休息？』だけの日々となっていました。今は高槻市内勤務

マンション住まいで地域とのつながりも無く、きっかけをつかめずにいきました。定年退職が近づき何とかしなければと思っていたそんな折、目にした『おうみ未来塾』に迷わず申し込みをしました。

☆未来塾のプログラムとグループでの活動

入塾を許されて未来塾がスタートした際には、参加者の年齢が思いの外若く（平均年齢42歳）「場違いだったかな？」と思ったものです。


だが、スタートした「基礎実践コース」毎回の地域活動の現場を見せて頂き、同時に実施される講習会これには深く感銘し入塾出来て良かったと思いました。この「未来塾」是非ずっと続けて頂きたいと思います。

グループ活動開始に当たっては『地域とつながりたい』との思いだけで入塾したこともあり具体的な「テーマ」が決められず思い悩む日々。

「草津」の活動を始めてからは、草津のあちこちを訪ね歩き、様々なシーンで多くの人たちとふれあう機会に恵まれ、街と人の魅力を実感しました。主催したイベントでは「草津の魅力の住人」に出会い話を伺うことができ、チラシやFBをみて参加頂きまた感謝頂いたことはこの活動に感謝しました。どうやってイベントを告知するかが課題と期待を感じます。

☆今後の活動

『草津ファン☆プロ』で人との出会いを頂きながら、今後の人生の『歩む道』を作って行こうと思っています。

名前	おおはし りょうすけ 大橋 亮介	居住地	近江八幡市	
グループ	キモチカエル@兵主			

【プロフィール】

滋賀県近江八幡市在住。プロ和太鼓奏者として活動する傍ら、保育園や中学校・地域のチームなどで指導を行っている。2011年に地元近江八幡市にて子どもの和太鼓チームを結成し、代表・指導を務める。

自身の愛言葉は、『ドン！と一発 笑顔をつなぎ・心をつなぐ』

和太鼓の一発で、笑顔が生まれ、その笑顔は人と人との心を繋ぐものだと信じている。

【入塾のきっかけ】


和太鼓を通して、人と人と繋がりをもっと作っていく為の勉強をしたいと思い入塾しました。

【活動を終えて】

創造実践コースでは11月23日(祝)に『兵主マルシェ』を開催する事を最終目標として活動しました。初めは本当に開催できるのだろうか？という不安がありましたが、各メンバーの連携で当日は大盛況のうちに終了しました。それまでの過程を振り返ると、やらないといけないという気持ちではなく、『やりたい』気持が一番大切である事を再認識しました。実行委員会では地元住民の方にも参加していただき、キモチカエルのグループ名のごとく、キモチをカエル事ができたんじゃないかなと思います。

【今後について】

卒塾はしますが、今後も各地域でメンバーと活動できればいいなと思います。

名前	かわさき けいすけ 川崎 慶介	居住地	大津市	
グループ	base Otsu_cross (ベース・オツ・クロス)			

【プロフィール・入塾の動機】

職業は公務員です。平成11年に大阪から大津に引っ越してきました、琵琶湖があり自然が多く残っている場所が近くにあり、大津・滋賀がとても好きになりました。平成18年に思いがけず自治会長（町内会長）になったのがきっかけで、近所の方や地域の方と親しくさせていただくようになり、NPO活動にも参加するようになり、知り合いが増え自分の世界が広がっていく地域活動の魅力に触れました。NPO活動を通じて、淡海ネットワークセンターと「おうみ未来塾」を知り、地域活動を学びたい、もっと滋賀のことを知りたい、もっと多くの方と出会いたい、という思いで入塾しました。

【基礎実践コース】

地域活動の先進事例として、県内の現場をいくつも回らせていただき、それぞれの地域の方々が自分達の地域のために素晴らしい活動をされていることを知り、自分達でもやってみたい、これらの活動をもっと多くの方々に知ってもらいたい、それぞれの地域の魅力を伝えたい、という気持ちを持つようになりました。



【創造実践コース】

大津ナカマチ商店街の活性化のための活動を行いました。月1回程度開催される商店街のイベントを通じて、企画会議・準備・運営・後片付け・打ち上げ等を、商店街に関わる方々と一緒に行う機会を何度もいただき、地域の方々の思いや悩みを知ることができ、多くの学びと気づきがありました。

【卒塾後の活動】

大津ナカマチ商店街に関わる方々と知り合う機会をいただきました。引き続き、潜在的な魅力がいっぱいの商店街で、楽しみながら活性化活動に関わりたいと思います。

また、「おうみ未来塾」での1年半の活動をきっかけに、県内の魅力ある場所をいくつも知りました。これからも、滋賀の魅力を見つけて、その魅力をどのように伝えていくか模索していこうと思います。

名前	たにぐち ひろし 谷口 浩	居住地	近江八幡市	
グループ	草津ファン☆プロ			

地域って何なんだろう？

物心ついた時から頭は仕事・仕事で、
地域のことなんて煩わしいと思っていました。
でも仕事をすればするほど、暮らせば暮らすほどに頭の中でぽっかり空いた
地域のことを気になってしょうがなくなりました。

地域なくして生きていけないはず！
そんな想いを強く持つようになりました。

地域プロデューサーなんて高尚なものになれなくても、
地域のお役に立つ中で自分の仕事と暮らしを充実させたい。
そんな想いで特技も地縁も何もないサラリーマンが未来塾に入りました。

草津ファン☆プロでは、
初めて滋賀の地を訪れた時に出会った草津で活動がしたい。
人と人の出会う街で自分も新しい出会いがしたい。
そんな想いで草津の魅力との出会いにつながる活動を進めてきました。

正直、地域に溶け込み、目指す活動が出来たとは思っていません。
しかしながら、この1年間で出会った方から多くのことを学びましたし、
ますます地域の魅力に出会うことが出来ました。
この場を借りて活動を支援頂いた皆様に感謝申し上げるとともに、
未来塾、草津ファン☆プロでの経験をこれから活かすことで、
少しでもお返しできればと思っています。

これからは、草津ファン☆プロの活動を拡げ、深めたいと思います。

(プロフィール)

福岡県出身。大学入学を機に滋賀県へ。
環境問題を専攻し、仕事も企業内の環境省として働いています。
会社でも社会でも今あるものを大切に、様々なもの・ことを「つなぐ」人を目指しています。

名前	たにぐち まりこ 谷口 真理子	居住地	近江八幡市	
グループ	草津ファン☆プロ			

◆プロフィール、おうみ未来塾入塾のきっかけ

愛知県出身ですが家族の仕事の都合で、近江八幡市へ移住。近江八幡市で暮らし始めて3年以上経ちます。しかし、日中は県外で働いていることもあり地域とのつながりは希薄でした。このおうみ未来塾の話聞いたとき「滋賀県のこと分かるなら少し覗いてみようかな。」と思ったのが入塾を決めたきっかけです。



◆基礎実践コース

地域活動の経験もなく、また、予備知識も無い状態で参加したので、基礎実践コースの本講座のテーマや講義内容はどれも新鮮でした。各地で活動の中心になっている方々からお話を聞けるのは非常に興味深く、また、実際にその土地ごとに光るものを探し、活かし、輝かせる活動に取り組んでいる人は、その人自身も非常に輝いているように感じました。

◆創造実践コース


私が創造実践コースで学んだ事は、“思い描くことと実際に行動にうつすことは、全くの別物である”、の一言に尽きると思います。

でも何より重要なのは、自分自身が楽しむこと（FUN）！自分が楽しいと思えることは、自信をもって人に紹介できる。自分自身がその活動を心から応援できる（FAN）。草津ファン☆プロの目指すところは、このステキな前向きスパイラルを巻き起こすことだったように思います。

◆活動を終えて（今後に向けて）

地域での活動は、しなければならないものではないと思います。しかし、生活をする上で地域との関わりをもつことは、より豊かに人間らしく生きるためには、非常に大切なことだと思います。この草津ファン☆プロの活動は、来年以降も自分が可能な範囲ではありますが続けて行きたいと思っています。地域活動に限らず、今後もこれらを念頭に置き、様々な人、組織と関わりを持って生活をしていきたいです。



名前	ちかまつ のりたか 近松 慶孝	居住地	岐阜市	
グループ	キモチカエル@兵主			

■プロフィール

- ・キモチカエル@兵主の代表。
- ・本業は建築設計事務所と新聞紙断熱材の製造販売。
- ・ファシリテーター、ワークショップデザイナーを目指す。
- ・美濃和紙の郷で、古民家を利活用した起業家の育成に携わる。

■地域プロデューサーを目指す理由


- ①資本主義経済が土台とする地域社会基盤は、地域の善良な人々によってつくられ、守られている。自己の「ビジネスばかりに没頭する姿勢」を正したい。
- ②地域に残る郷土文化は、絶滅の危機にある。大切なものに気付かせ、継承のサポートをするプロデューサーが必要である。
- ③地域の方々との交流で刺激し合い、面白いことを引き起こし、一緒に楽しみたい。(これが一番！)

■兵主への想い

- ・兵主大社という、大きなポテンシャルを持つ場所、それを支える井口宮司と地域の方々に感動した。
- ・2018年、兵主大社鎮座1300年祭を迎えるにあたり、地域の方々がそれを誇りに感じ、兵主をもっと好きになるように、今後も一緒に活動を続けたい。

■キモチカエルのメンバーへ

- ・地域に関わる活動をされているメンバーが多く、とても勉強になりました。県外リーダーを受け入れ、支えて下さり、有難うございました。
- ・キモチカエル@兵主の当初テーマは、「地域への無関心を LOVE に変える」でした。テーマは変わったものの、“食”をきっかけにした、地域に関わりを持つ仕掛け作りを体験しました。今後も、“食”について多くを学び、地域プロデュースに役立てたいです。また、料理教室や田んぼの学校などでお世話になります。
- ・たてぼしご飯、えび豆、蕪汁、ビワマスじゅんじゅん、ビワマspan、兵主丼、美味しい料理を食べて、本当に楽しい活動ができましたね。また、兵主さんでピクニックをしよう♪

名前	なかい あけみ 中井 あけみ	居住地	栗東市	
グループ	キモチカエル@兵主			

**プロフィール

1949年滋賀県栗東市生まれ、短期大学の助手を経験。結婚を機に夫の自営業の鉄工所を手伝って女鷹職として、誰にも真似の出来ない仕事に誇りを持っていました。大病をして心機一転、以前から手掛けていたパン、蕎麦を生かして金勝の山の麓で朝市を始めて20年になる。朝市、地域での食育活動、米粉パン教室、体験教室、子育てグループたまたばやしの支援を行っている。

**未来塾に入る動機として

地域活動は、田んぼ体験、里山体験、竹やぶ体験、蕎麦打ち体験、収穫祭等、細々と活動しているものの、自己流でした。地域活動を活発にされているところを見て、聞いて、私の住んでいる所に目を向けた時に、農業の若い担い手さんが、地域の60%の農地を耕作してくれるという状況を知り、女性農業委員の立場として応援したいと思いました。地域に根ざした、持続性のある地域おこしをどうしたら出来るだろう？これからの課題として入塾を決心しました。

**活動の場、活動の実態

野洲市五条兵主地域に皆と自治会長さん宅にお願いに歩きました。地域を生かした活動として、漁師の松沢さん、北出さん、風さんのヒヤリングやミーティングを重ね、兵主大社の宮司さんのヒヤリングの時に、食に関してのお話で「兵主菜蕪の在来種」の事、神社の歴史等に感銘を受けました。その後、神社の境内をお借りして、地域食材を使った料理を参加者で作りピクニックをしたり、兵主コミュニティセンターでの収穫祭に参加させていただき、ビワマスを使ったパンの試食をしながら、地域の皆さんと関わりながら、兵主の良さを再確認していただく良い機会でした。11月23日に兵主大社の紅葉ライトアップに合わせて、地域の実行委員さんも参加いただき、マルシェを開催しました。野洲地域から12店舗出店していただきました。キモチカエルのメンバーはビワマスを使った兵主井を皆さんと作り好評をえました。

**活動を終えて得たもの、今後の想い

私達は松沢さん、北出さん、風さん、井口宮司さんというキーパーソンに恵まれ、よきアドバイスを沢山いただく事が出来ました。地域との繋がり、人との繋がり大切さを学ぶ事ができました。

キモチカエルのリーダー、副リーダーには、引っ込み的な私を上手く引き出していただき、一員として認めていただき、皆さんと助け合い、支え合い、良い関係が作り上げられ、よりよい関係が出来て本当に嬉しく思います。私としては一歩踏み出せてよかったです。仲間に感謝です。今後は兵主大社の1300年祭に向けての活動を続けていくことを皆さんと確認出来ました。そして、個人的には下戸山マルシェはなもも市の継続、地産地消を進め、下戸山内外の「人・物・産業・文化」の交流を通して、訪れた方々の熱気、活気、笑顔いっぱいの皆さんの広場、地域を皆で作り上げたいです。

挫折しそうな私を支えていただいた事務局の皆さん、13期生の皆さんに心から感謝します。

名前	にしやま あきこ 西山 彰子	居住地	大津市	
グループ	base Otsu_cross (ベース・オツ・クロス)			

プロフィール

- ・京都府出身。立命館大学法学部卒業。・滋賀に住んで10余年。
- ・ファイナンシャルプランナーとしてフリーランスでセミナー講師やコンサルティング業務を行う。 <http://anfun.jp/>
- ・女性の起業を応援する会 会長
- ・財)ロングステイ財団登録アドバイザー
- ・公的支援機関で起業支援に携わる

入塾の動機

多くの方との出会いを通して刺激を受け成長したい。海外からの旅行者との交流も出来る団体を組織してみたいと考え、入塾しました。

おうみ未来塾での学び・気づき

フィールドワークで県内の様々な地域をまわり、「滋賀は地味に・素朴におもしろい」と感じた。キーワードは、「感動」「共感」「ワクワクする」

今後の抱負

京都から滋賀に移り住んだ。「きっと京都に戻る日が来る」と思ってこの地に暮らし、ほどなく滋賀に魅せられた。「もう京都に戻ることはない」琵琶湖のある暮らし。比良の山並み…おうみ未来塾に学び滋賀が益々好きになった。もっともっと滋賀に暮らす人々と楽しみたい！もっと豊かな暮らしが実現できる地域であれば良いと思う。滋賀を訪れる人々には、この地の良さを知ってもらいたいと思う。滋賀を知らない人々に知ってもらうにはどうすればよいのか？これらを実現するために、自分に出来ることは何か？出来ることを一つ一つ。

地域プロデューサーとして果たすべき役割は、何かを考え前進したいと思う。人生は、楽しくなくちゃ！！

名前	ふくなが てつや 福永 哲也	居住地	甲賀市	
グループ	草津ファン☆プロ			

➤ プロフィール

1970年2月岐阜市生まれ。9歳で大津市に引っ越し、20歳からは甲賀市在住。

ホテルマン、営業職など20年以上、会社勤めをしていたが、過労とストレスで体調を崩し、退社。

その後、一念発起して行政書士とキャリアコンサルタントの資格を取得して、現在は甲賀市で個人事務所を開業。

➤ 入塾の動機

会社勤めの頃は、ひたすら会社の為に働いていたが、そんな生活を虚しく感じ「何か他人のために貢献出来ることをしたい!」と思って、いろいろな団体のセミナーへ参加しまくっていた時に、あるセミナーで出会った同じ参加者の方が未来塾の卒塾生で、その方から、おうみ未来塾の事を教えてもらい応募。最初は、軽い気持ちで入塾しました。

➤ グループ活動を通して学んだこと

グループ決めの日に、知人の結婚式と重なり欠席。後日、一番人数の少ないグループに入る事となり、それが「草津ファン☆プロ」だった!

グループ内での自分の役割は、会計担当で主に事務的なことを担当。最初は、グループミーティングに積極的に参加し、情報発信も出来ていたが、5月から仕事の都合で、活動にあまり参加出来なくなり、グループ活動での貢献が出来なくなりました。


しかしそんな時でも、グループの仲間は自分達も忙しいのに、僕の事を気付かってくれ、よくフォローしてくれました。1人だったら途中で挫折して、活動を辞めていたと思いますが、みんなで活動することの大切さと、仕事をしながら市民活動を継続していくことの難しさを学びました。

➤ 卒塾後にやりたいこと

まずは、無理せずコツコツ自分の出来る範囲で、楽しく活動を続けていきたいと思っています。人は忙しくなり体が疲れてくると気持ちも疲れてきますので、とにかく楽しく続けていく努力をすることが大切だと思っています。

市民活動をしておられる方は、バイタリティが有り、積極的に活動される方が多いですが、たまには僕みたいに無理せず自分の出来る役割を見つけて(多分事務方になるでしょうが)その役割で貢献する人が居ても良いかなと思っています。

市民活動をされる方は、あっちこっちのイベントに顔を出されるかと思っていますので、また何かのイベントや会議で出会う機会が有りましたら、その時はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

名前	ふじおか いづみ 藤岡 いづみ	居住地	野洲市	
グループ	キモチカエル@兵主			

● プロフィール

生まれも育ちも野洲（兵主）。3人娘の子育て中。2人目出産後、兵主に戻る。
野菜ソムリエ。セミナーや料理教室など食と農に関わり活動中。

● 入塾の動機

一人で実行に移すのは早いけれど出来ることに限界があり、グループならもっと可能性が広がるのでは、と思っていた頃、周りの卒塾生の方々からのお薦めもあり、「地域プロデューサー」って何？という疑問を持ちながらも、入塾を決めました。

● 「キモチカエル@兵主」の活動について

最初は、地元なだけに逆に不安もありましたが、活動していく中でメンバーの皆さんに兵主の良さを改めて教えてもらいました。

グループ活動では合意形成、リーダーシップと今まであまり深く考えたことのないこれらキーワードを実践の中で学び、便利とはいえSNSミーティングでは限界があり、やはり直接会って話し合うことの重要性など今後の活動においても得た学び、気づきを生かしていきたいです。

キモチカエルのメンバーとして活動でき、最後に「兵主マルシェ」を大盛況で開催できたこと、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。皆さん、今後共どうぞよろしくお願いいたします。




● 今後について

メンバーの皆さんが兵主に足を運んで下さるにつれて、地元の方々が徐々に心を開いていかれるのをとても感じました。こうした期待、信頼を今後も繋げて行けるようにどのように関わっていくのが私の課題です。

特に兵主大社、井口宮司様には大変お世話になりました。キモチカエル@兵主の集大成だった「兵主マルシェ」を2018年の1300年祭まで継続していけるように働きかけていきたいと思っております。

履歴書

2015年 12月 12日

ふりがな 氏名	ふじた ひろやす	
<h2>藤田 太裕</h2>		
1993年	7月生(満22歳)	男・女
ふりがな	くさつ	所属
活動時の住所	草津市	立命館大学
所属団体	キモチカエル@兵主 草津ファン☆プロ	経済学部

年	月	活動歴	備考
2014	6	おうみ未来塾 入塾	様々なことにチャレンジしていた4月、未来塾もその一つ。 きっかけは、大学の図書館の棚にあった未来塾募集冊子。
	7~	基礎実践コース	単に教えてもらうことだけではなくて、反面教師に学べることも多々あった。 どう使うかということを考え、学びを知識に変えていかねばいけなかったと後悔している。
	12~	創造実践コース	無関心の人の意識をどうやって地域に向けるかということテーマにしたかった為、キモチカエルに参加。 居住地が草津市ということもあり、草津ファン☆プロにも参加することになる。
2015	2	目標発表会	地域づくりの前例で出てきているような問題を、自分で実感することになる。「なぜそれに多数決を使うのか」という状況や、延々と続く合意形成、反対だけで反論しない人など。
	12	おうみ未来塾 卒塾	

未来塾で何を学んだのか。

- ・チラシ・ポスターの作り方・見せ方。
- ・合意形成の困難さ。

本人希望記入欄 (今後)

自然に囲まれた田舎で暮らしたい。

名前	まえかわ ひとみ 前川 仁美	居住地	大津市	
グループ	base Otsu_cross (ベース・オツ・クロス)			

☆プロフィール

1967年大阪生まれ、主人の出身地滋賀県に2000年に大阪から移住、夫と娘2人の4人家族。専業主婦の傍ら、2歳から80歳代までを、ミニランポリンを使つての健康運動指導を大津市、草津市で行っている。

☆おうみ未来塾に入る動機、きっかけ

子育ても一段落し自分の時間ができ、何かチームを組んで仲間と目標を持って活動がしたかった。特に、子育てについては『子育て支援』という名のもとに進められている行政支援の在り方や、子育てをする母親の意識に疑問を持ち、このような支援の考え方で未来を担う子供達が、健やかに育つ環境にあるのかと疑問を持ちました。時間を管理する人間が時間に管理される世の中になり、子育てにおいても子供の気持ちよりも生活そのものが、時間に追われ大人の時間を重視した子育てを考え直してみたいと思いました。

☆活動場所・活動内容

大津ナカマチ商店街：車社会での生活環境の変化、高齢化に伴う商店街の経営存続問題による、商店街の機能、問題点を市民活動に担える点を埋めていく活動を試みた。

商店街には、顔と名前を覚えてもらうために何度も通い、お店の方や商店街を中心に市民活動をされている方に、お話を伺っている中から活動の糸口を見出して、商店街の活動が可能となった。しかし、中々考えていることが、形に成りグループで目的を共有しながら活動を続けることは、難しいことでした。そんな中、商店街で出会った方々には、温かな気持ちで応援して頂ける機会を頂くこともできました。

☆活動を終えて得たもの、今後の想い

市民活動とは、最初は道もなく進んで行くから道ができ、その周りに花や緑ができ人が集まり賑わいが生まれる、そんな歩みが市民活動なのかなと感じました。


最初は、一人かもしれないけど諦めず歩いていると、見ていてくれる誰かがいて、いつかは、一緒に歩いてくれたり、声をかけてくれたり、気がつけば一人ではなくなっている。

今後も、素直に感じた事があれば、まず一歩、歩いてみようと思います。

☆おうみ未来塾13期生の皆さん、事務局の皆さんへの想い

ほぼ、子育て家庭中心に過ごしてきた私でしたが、皆さんからたくさんの刺激を受けて教え支えて頂き、最後まで続けることができ感謝しております。

また、何年後かに皆さんとこの「おうみ未来塾」での学びから始まった、まだ見ぬ未来を語れる日を楽しみにしております。

名前	やまざき ともや 山崎 智也	居住地	大津市	
グループ	base Otsu_cross (ベース・オツ・クロス)			

【プロフィール・入塾の動機】

生活協同組合コープしがで配達の仕事を行っています。

自分という人材を成長させるために、チームとして一つの目標を達成に向けて導くためのリーダーシップを学ぶつもりで入塾させて頂きました。

現在は大津市から、実家のある高島市に引っ越し、住んでいます。

【1年目・基礎実践コース】


まずは自分が、滋賀のことについて本当に何も知らない、世間知らずなことを思い知らされました。滋賀の各地には様々な地域資源や魅力が存在し、それを力強く引き出せる方々がいらっしやること、そしてそんな方々が輝きながら自分自身をも地域の一つの魅力にしながら活動されていることを知りました。

【2年目・創造実践コース】

大津ナカマチ商店街の活性化のための活動を行いました。何もかもが初めての経験で戸惑うことばかりでしたが、そんな中でも地域の魅力的な方々とお会いし、色々なことを学ばせて頂きました。中でも株式会社・百町物語さんとの出会いは衝撃的で、情熱的に輝きながら活動を進めておられるお姿に惹きつけられるものを感じました。また、グループ皆で活動をしていくことに関して、本当に困難なことも多く、辛く苦しい思いもしました。しかし、この苦労のお蔭で本当に様々なことを学べたと感じています。それぞれのメンバーの仕事や家庭などの側面、感情的な側面にも気を向けながら可能な限り配慮ある、建設的な活動の進め方をしていかなければ、メンバーの気持ちが完全にバラバラになってしまうことも十分有り得るということを、仕事での経験と並行しながらリアルに体験できました。これからの仕事や地域活動を進める上で、生かしていきたいと思えます。

【卒塾後の活動】

大津ナカマチ商店街での学び、出会いをこれからも大切にしていきたいです。また、高島への引っ越しを契機に、高島の素晴らしい方々と知り合い、色々なことを学ばせて頂きたいと考えています。未来塾で過ごした、たった2年間でも本当に多くの学びを頂き、滋賀や大津のことが大好きになりました。だからこそ、私はもっともっと滋賀のことや大津のこと、今住んでいる高島のことを知り、関わっていきたくと思っています。また、本業で鍛えられた個の強みをうまく生かしておられる諸先輩方を拝見したことから、仕事もこれまで以上に徹底的に頑張る、自分自身をまず成長させていきます。

名前	やまもと かつや 山本 克也	居住地	大津市	
グループ	キモチカエル@兵主			

【プロフィール・入塾の動機】

「まちおこし」、再生可能エネルギー事業の立ち上げと教育に関心あり。楽しいPTA、自治会を目指す、地元中学校の現役のPTA会長、自治会長。4人息子のサッカーの試合観戦、家庭菜園、ペットの豆柴とネコちゃんとのじゃれ合い、ジョギング、オペラ・ミュージカル・映画・絵画鑑賞、フェイスブック、新聞を読むことが好きなマンション管理士、宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナーなどの資格を有する元ITベンチャー企業のマーケッターです。

「地域のないものねだりは止めて、あるもの探しをする」という地元学をおうみ未来塾入塾の少し前に知り、「まちおこし」に目覚めました。そして、課題発見力と政策形成力と実践力（コンセンサス能力、ネットワーク形成力、マネジメント能力）を養い、「市民力」「事業力」「ネットワーク力」を兼ね備えた人材＝地域プロデューサーになり、政治や行政、企業だけでは解決できない地域の地域課題を解決するために、おうみ未来塾で学び、実践したいと思ったのが入塾の動機です。

【基礎実践コース】

地域プロデューサーは、地域に対して裏で仕掛ける者であり、地域の方々の理解を得ながら勉強させていただくことを常に意識する必要があることを学びました。



【創造実践コース】

グループのメンバーや地域の方たちと合意形成をすることの大切さを学びました。また、料理教室やマルシェと言った食を通じた「まちおこし」の方法やワールドカフェ、地域診断、ワークショップの企画、運営など合意形成の方法を学び、実践することができました。





【卒塾後の活動】



おうみ未来塾で学んだ知識と経験を地元の「まちおこし」に活かしたい。



・写真上：兵主マルシェで単独出店した地元食材のお店「じのもんや」のマーク
 ・写真中：採りたての兵主かぶ
 ・写真下：兵主マルシェで販売した兵主かぶのご講汁

おうみ未来塾第13期生のあゆみ

入塾式（公開）		
日付	2014年6月8日（日）	
場所	大津市（「コラボ21」3階 大会議室）	
テーマ	地域づくり	
講師	塾長：北村裕明さん アドバイザー：岡崎昌之さん、岸田眞代さん、藤井絢子さん	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おうみ未来塾第13期生の入塾式 ・塾長による開講記念講座「おうみ未来塾がめざしてきたもの」 ・アドバイザーによる開講記念トーク「地域づくり～さまざまな語らい～」 ・入塾生22名による自己紹介 	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		





第1回本講座		
日付	2014年7月5日（土）	
場所	甲賀市水口町 「旧水口図書館（ヴォーリズ図書館）」 「鹿深deござれ！居場所ひだまり」「水口中央公民館」	
テーマ	「地域プロデューサーの時代」	
講師	北村裕明さん（おうみ未来塾長／滋賀大学 理事 兼 副学長） 大河原佳子さん（第7期卒塾生／甲賀市国際交流協会 事務局長） 大平正道さん（あいこうか市民活動ボランティアセンターコーディネーター） 藪下利男さん（第12期卒塾生／「鹿深deござれ！」メンバー）	
内容	おうみ未来塾の目指す人物像である地域プロデューサーを、具体的なフィールド（甲賀市で「多文化共生」をテーマにしている地域活動）における事例を見ながら学んだ。	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		




第2回本講座	
日付	2014年7月26日(土)
場所	近江八幡市白王町 「鳩の湖会館」「権座・水郷」
テーマ	「地域をプロデュースするとは」
講師	岡崎昌之さん(おうみ未来塾アドバイザー/法政大学現代福祉学部 教授) 東 房男さん(権座・水郷を守り育てる会 会長) 大西 實さん(権座・水郷を守り育てる会 事務局長)
内容	岡崎アドバイザーより地域づくりについて学んだ。フィールドとして、「権座・水郷を守り育てる会」を訪ね、唯一現存する船でしか行けない湖上の田んぼと水郷を守り育てる取り組みの事例を学んだ。



第3回本講座	
日付	2014年8月23日(土)～24日(日)
場所	高島市 「白浜荘(安曇川町)」「針江生水の郷(新旭町)」「マキノ高原(マキノ町)」
テーマ	「新しい価値による地域づくり」
講師	美濃部武彦さん(針江生水の郷委員会会長)、針江生水の郷委員会の方、前川正彦さん(NPO 法人高島トレイルクラブ代表)
地域に学ぶ	塾生同士の親睦を深めるための合宿形式での開催。1日目は、「針江生水の郷(はりえしょうずのさと)委員会」を訪ね、生活の中に根づく伝統的な川端(かばた)の文化を地域資源ととらえ、エコツアーとして地元以外に見せていくことで地域づくりにどのように繋げておられるかを学んだ。2日目は、「NPO法人高島トレイルクラブ」を訪ね、藪に埋もれていた古道やかつて使われていた山道を活かし、こつこつと整備しつつないだ高島トレイルを観光資源とし地域の活性化を図っておられる取り組みを学んだ。
 	
 	
 	



第1回サブ講座	
日 付	2014年8月23日(土)～24日(日)
場 所	高島市
テ ー マ	気になる人・団体さん訪問
地 域 に 学 ぶ	<p>「山里暮らし工房 風結い」</p> <p>杉嶋青出さん(株式会社 澤村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体寸前の伝統的な古民家を移築再生して甦らせた ・昔ながらの暮らしの原点には、持続可能な豊かさがひろがっている
	<p>「ソラノネ食堂」</p> <p>岩田康子さん(ブルーベリーフィールズ紀伊國屋 経営者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちっちゃなおにぎりを渡して、美味しいねと言ってくれる幸せ ・釜戸で炊く、火を扱うこと、それが家の中にあるという豊かさ
	<p>「市民エネルギーたかしま」</p> <p>山村和夫さん(一般社団法人市民エネルギーたかしま 理事長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にある、太陽光・バイオマス・小水力を使ってエネルギーを得る ・小水力発電(百瀬川)計画予定地を見学
	<p>「FEC自給圏ネットワーク」</p> <p>福井富久子さん(NPO法人FEC自給圏ネットワーク 世話人代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・food, energy, careの頭文字 ・食糧、エネルギーを自給する暮らしと地域づくり
	
	



第4回本講座	
日付	2014年9月27日(土)
場所	米原市「古ゞ屋」柏原西町
テーマ	「多様な主体の協働による地域づくり社会づくり」
講師	岸田真代さん(おうみ未来塾アドバイザー ／ NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事) 藤田知文さん(第7期卒業生／「ひょうたんからKO-MA」メンバー) 長阪 静さん(第12期卒業生／「古ゞ屋」メンバー)
内容	講義では、多様な地域の主体と協力しながらすすめている企業とNPOの協働事例を学んだ。フィールドでは、卒業生が取り組む地域づくりの事例を参考に、これからの地域づくりのあり方を探った。
	



第2回サブ講座①	
日付	2014年9月28日(日)
場所	守山市(和食cafe「go-en ゴエン」)
テーマ	「卒業生を囲む会(グループ活動、グループ編成に向けて)」 ・広實さん(第1期生)・遠藤さん(第1期生)



第2回サブ講座②	
日付	2014年10月10日(金)
場所	大津市(淡海ネットワークセンター ふらっとルーム)
テーマ	「卒業生を囲む会(グループ活動、グループ編成に向けて)」 ・松井さん(第1期生)・斎藤さん(第5期生)・山本さん(第12期生)



第2回サブ講座③	
日付	2014年10月14日(火)
場所	草津市(市民交流プラザ)
テーマ	「卒業生を囲む会(グループ活動、グループ編成に向けて)」 ・澤さん(第1期生)・橋さん(第7期生) ・日下部さん(第8期生)・澤さん(第10期生)

第5回本講座	
日 付	2014年10月26日(日)
場 所	東近江市「あいとうエコプラザ 菜の花館」「あいとうふくしモール」
テ ー マ	「地域と共に創る」
講 師	藤井絢子さん(おうみ未来塾アドバイザー ／NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表) 野村正次さん(株式会社あいとうふるさと工房代表取締役／NPO 法人愛のまちエコ倶楽部副理事／NPO 法人まちづくりネット東近江代表)
内 容	愛東という地域を拠点に市民の力で広がりを見せている「菜の花プロジェクト」のムーブメントについて学ぶ。また、食とエネルギーの地産地消を通して地域の自立を図る取り組みから、地域と共に創る市民活動のヒントを学んだ。
 	

第6回本講座	
日 付	2014年11月30日(日)
場 所	大津市(ピアザ淡海 206会議室)
テ ー マ	「地域課題解決のための事業計画づくり」
講 師	中川芳江さん(Office SPES代表 ／一般社団法人ソーシャルビジネスネットワーク理事)
内 容	創造実践コースでのグループ活動に向けて、地域課題解決のための事業計画書を作成し、活動を継続して行えるように、事業と事業費を結びつける力を備えることを目標とした。
 	

第7回本講座	
日付	2014年12月14日(日)
場所	大津市(ピアザ淡海 206会議室)
テーマ	「グループづくりワーク」
趣旨	塾生同士で話し合い、2015年1月からグループ活動始めるためのグループ編成を行った。(3つのグループが誕生)
 	

第8回本講座	
日付	2015年1月11日(日)
場所	彦根市(大学サテライト・プラザ彦根)
テーマ	「地域診断法」
講師	鶴飼 修さん(滋賀県立大学准教授/近江環人地域再生学座専任講師)
内容	グループ活動で地域に入る前に、その地域を把握し理解していく科学的な地域診断の手法を学んだ。
 	

グループ活動目標発表会	
日付	2015年2月28日(土)
場所	ピアザ淡海 203会議室
趣旨	創造実践コースでのグループ活動における、目標発表を行った。
 	

第9回本講座	
日付	2015年4月4日(土)
場所	ピアザ淡海 206会議室
テーマ	「リーダーシップと合意形成」
講師	岸田真代さん(おうみ未来塾アドバイザー /NPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事)
内容	自己分析によって、客観的に自分の強み弱みを見つけ、未来を担うリーダーとして求められる要件・能力について考えた。また、組織を運営するにあたって、地域プロデューサーとしての合意形成の図り方や個人と組織の関係について、ワークショップを通じて学んだ。



グループ活動中間報告会(公開)	
日付	2015年6月28日(日)
場所	ピアザ淡海 305号会議室
趣旨	創造実践コースでのグループ活動における中間報告を行った。



グループ活動成果発表会・卒塾式（公開）		
日	付	2015年12月12日（土）
場	所	ピアザ淡海 207号会議室
趣	旨	創造実践コースでのグループ活動における成果発表を行った。
		
		
		
		
		
		
		
		

第1回塾生会		
日	付	2014年7月5日(土)
場	所	甲賀市 中央公民館
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・世話人会、編集委員会、全体塾生会の運営方法について ・情報共有ツールとしてのFacebookグループについて ・13期生と事務局の全員がFacebookグループに入る ・塾生会と本講座の報告書のフォーマットの作成について

第2回塾生会		
日	付	2014年7月26日(土)
場	所	近江八幡市 鳩の湖会館
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・世話人会、編集委員会の報告 ・情報共有ツールとして、フェイスブック、メーリングリストを併用する ・FBにおける塾生の写真の取り扱いについて ・サブ講座の内容について、各担当において調整を進める

第3回塾生会		
日	付	2014年8月23日(土)
場	所	高島市 白浜荘
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有ツールとして試験的に運用しているOneDriveについて ・創造実践コースのグループ編成のスケジュールについて ・9月～10月に卒塾生の方々にお話を伺うサブ講座を設定

第4回塾生会		
日	付	2014年9月27日(土)
場	所	米原市 古ゞ屋
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有ツールとしてFBとメーリングリストの書式フォーマット ・本講座等の出欠を、FBイベントの「参加」「不参加」で集約 ・配車、ピックアップ方法の確認について

第5回塾生会		
日	付	2014年10月26日(日)
場	所	近江八幡市 「中華料理 吟華」
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成に向けたワークショップを実施 ・塾生一人一人が、やりたいことを発表

第6回塾生会		
日	付	2014年11月30日(日)
場	所	ピアザ淡海 206号室
議	事	・グループ編成の話し合いを行い、地域で4つ、テーマで3つにしぼった。

第7回塾生会		
日	付	2015年1月11日(日)
場	所	彦根市(大学サテライト・プラザ彦根)
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループから活動進捗状況について報告 ・2月28日のグループ活動目標発表会に向けたスケジュールを確認

第8回塾生会		
日	付	2015年6月21日(日)
場	所	ピアザ淡海 301号室
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動中間報告会での配布冊子の印刷製本作業を行った。 ・グループごとに報告会に向けての打ち合わせや発表練習を行った。

第9回塾生会		
日	付	2015年9月24日(木)
場	所	淡海ネットワークセンター ふらっとルーム
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・成果活動報告書の方針等について(編集委員会と兼ねて開催) ・卒業記念品について

第10回塾生会		
日	付	2015年12月6日(日)
場	所	ピアザ淡海 207号室
議	事	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動成果発表会での配布冊子の印刷製本作業を行った。 ・グループごとに発表会に向けての打ち合わせや発表練習を行った。

※「本講座」「サブ講座」「塾生会」以外に、「世話人会(基礎実践コース)」「代表者会議(創造実践コース)」「編集委員会」も開催した。

グループ活動

グループ活動

キモチカエル@兵主

グループ活動

草津ファン☆プロ

グループ活動

base Otsu_cross



キモチカエル@兵主

(地域の様々な人の気持ちを変える)

【メンバー】

安達	みのり	(甲賀市)
伊藤	大輔	(草津市)
大橋	亮介	(近江八幡市)
近松	慶孝	(岐阜市)
中井	あけみ	(栗東市)
藤岡	いづみ	(野洲市)
藤田	太裕	(草津市)
山本	克也	(大津市)

1. 《活動目的》

地域課題の解決を妨げる根源的な問題は？
「地域活動に関わらない住民の地域への愛着の薄れ」と推測！

地域住民が地元の良さを発見、認識して地域への自信を持てば、地域活動に関わる意欲が芽生えると期待！（シビックプライドの醸成）
特に、若い子育て世代や若者は、地域活動への参加機会が少なく、何か動機付けが必要。

地域活動に積極的に参加できる土壌をつくる。

Uターンの増加、結婚や出生率の向上が期待出来る！

[活動への想い]

兵主地域の中心であり、1300年祭を控える兵主大社の井口昌宏宮司によると「地域住民の方々との結びつきを、もっともっと強めていきたい。我々神社は、地域の方々の協力なしには存続できないんです。」とのこと。私たちキモチカエルは、自然豊かな兵主の地で育まれた「食材」、「郷土料理」を通じて、「兵主大社」という場所を中心に、地域の方々に愛着を深めてもらう活動を行おうと決めました。

【テーマ】 「地域食材で料理作りを楽しみ、兵主をもっと好きになる！」

【ミッション】

・兵主住民の地元への愛着を深め、自らが地域課題に取り組む風土をつくる。

【目的】

- ・兵主地区の魅力や宝物として「郷土料理」と「兵主大社」に着目し、地域住民がこれらについて学びを深めることで、地域への愛着を深めることを促す。
- ・外（他地域）を知ることで、内（地元）の良さを発見してもらうため、「ピクニック」で多地域の住民を繋げる。

【ターゲット】 兵主地区に住む、地域活動に関わるきっかけがない住民
（女性を中心に若者、子育て世代）

活動方針が定まる、ここまでの軌跡を振り返ります！

2. 《キモチカエル@兵主の活動記録》

- ・グループミーティング . . . 15回
- ・地域ヒアリング . . . 2回
- ・地域イベント（参加） . . . 7回
- ・主催イベント . . . 4回

月日	種別	内容	場所
12月14日	おうみ未来塾全体	グループづくりワーク ピクニックをしよう！	
1月5日	グループミーティング	第1回会議&新年会	近江八幡
1月11日	グループミーティング	地域診断・第2回会議 兵主の魅力を発見！	プラザ彦根
1月25日	他地域との交流	ピクニック@観音寺	観音寺公民館
2月1日	グループミーティング	第3回会議	淡海ネットワークセンター
2月12日	地域ヒアリング	地域ヒアリング①	野洲市役所など
2月28日	グループミーティング	活動目標発表会事前会議 兵主弁当をつくろう！	ピアザ淡海
2月28日	おうみ未来塾全体	活動目標発表会	ピアザ淡海
3月16日	地域ヒアリング	地域ヒアリング②	兵主大社、菖蒲漁港 など
3月24日	グループミーティング	第4回会議	野洲市市民活動支援 センター
4月4日	地域イベント	満月マルシェ	マイアミキャンプ場
4月11日	地域イベント	家棟川お花見舟	家棟川
4月27日	グループミーティング	第5回会議（定例・平日） 料理教室をしよう！	近江八幡スタバ
5月5日	地域イベント	兵主祭り	兵主大社
5月5日	グループミーティング	第6回会議 兵主マルシェを開催しよう！	野洲市ガスト
5月10日	グループミーティング	第7回会議（定例・日曜）	兵主大社→市民活動 支援センター
5月24日	主催イベント	料理教室&ピクニック	コミセン兵主→兵主 大社
6月7日	地域イベント	やすまる広場	野洲図書館
6月21日	グループミーティング	第8回会議&リハーサル	淡海ネットワークセ ンター
6月28日	グループミーティング	第9回会議	ピアザ淡海

6月28日	おうみ未来塾全体	中間報告会	ピアザ淡海
7月11日	グループミーティング	第10回会議	草津NIWA+
8月18日	地域イベント	あやめ浜祭り	あやめ浜
8月18日	グループミーティング	第11回会議	あやめ浜
9月15日	グループミーティング	第12回会議	草津NIWA+
9月27日	主催イベント	じゅんじゅんPARTY	兵主大社
9月27日	グループミーティング	第13回会議	兵主大社
10月5日	グループミーティング	第14回会議	草津NIWA+
10月22日	マルシェ打ち合わせ	兵主マルシェ打ち合わせ	兵主大社
10月24日	地域イベント	兵主収穫祭 ビワマス試食会&茶話会	コミセンひょうず
11月5日	マルシェ打ち合わせ	第1回マルシェ実行委員会議	コミセンひょうず
11月22日	地域イベント	ビワマスフォーラム	コミセンぎおう
11月23日	主催イベント	第1回兵主マルシェ	兵主大社

【ピクニック@観音寺】 2015年1月25日

(目的)ピクニックや自慢大会を通して、

地域の人たちと交流し課題を発見する

(近松) 空き家が2軒しか無いのに将来に危機感がある。

(安達) 私が知らないだけで、こうして自分の住む町の課題を解決する為に住民が一生懸命前向きに取り組んでおられる地域はたくさんあるんだと思います。やはりまずは地域を知ることが大事。

(藤岡) 奥様達、みなさん自然が好きとおっしゃってました。それとよそから嫁いで来られた奥様も最初は、え～！って思ったけど今では繋がりができて、離れたくないとおっしゃってたことが印象に残ってます。

(中井) 14戸の皆さんの助け合いの精神、この在所が好きだから、一人では出来ないけれど、皆で何事も一斉にして、この地域を守っていかねばならないという思いが強く感じた。

(伊藤) 草刈りなどの集まりでは1戸2人以上出ることになっており、最低でも1人は出てきて、全戸出席という事実。三浦さんという、補助金申請等、情報通で、人に与えることが好きなリーダーの存在。



【ヒアリング@兵主】 2015年3月15日

兵主学区のキーマンへヒアリング。漁協松沢さん、兵主大社、風かおるさん、自治会長へご挨拶。

兵主大社宮司 井口昌宏氏のお話し

○兵主大社の成り立ち

- ・兵主大社の由来は、中国の山東省の兵主神（八神信仰）。中国→朝鮮半島→日本に鉄と同じルートで入ってきた。（穴師、穴太など、穴のつく地名に多い。穴＝鉄を精製する穴）
- ・全国の兵主社50社中30社は兵主大社から分祀された。
- ・昔は、やな漁の漁業権を兵主大社が持っていた。春は鮎、秋はビワマス、夏は鱒（はす）が採れ、皇室へ献上していた。

○1300年祭・記念行事のお話し

- ・兵主大社の創立は718年。2018年は御鎮座1300年にあたり、1300年祭・記念行事を策定している。
- ・ソフト面（兵主菜蕪や兵主神社サミットなど）とハード面（屋根の葺き替えなど）の2種類の事業による。ソフト面では、外部協力者との共同事業とする。

○兵主菜蕪のお話し

- ・兵主菜蕪は、室町時代から明治中期まで周辺地域で特産品として栽培されていた。
- ・兵主大社の御鎮座1300年祭記念事業として兵主菜蕪を復元し、神饌としてお供えする予定。
- ・当時の種は失われてしまったので、近江蕪と聖護院蕪を掛け合わせて、新しい兵主蕪の品種開発を進めている。（タキイ種苗株式会社の協力の下）
- ・在来兵主菜蕪の特徴は、いた葉、蕪は大きめ
- ・掛け合わせた菜の花から種を採って植えても、大半は先祖返りをする。僅かに先祖返りをしない種を採って、徐々に新品种を増やして行く。品種の安定に、約10年間はかかる。
- ・地域の氏子（農家）が、品種改良の畑を手伝っている。
- ・兵主菜蕪が完成したら、最終的には地域で広めてつくってもらおう。
- ・兵主蕪の昔ながらの料理は、干した蕪を煮た味噌汁。現代に合った料理を開発し、若者も食べられるようにしたい。（レシピ本あり。）→ブランドづくり

○八ッ崎神事のお話し

- ・1604年10月上旬（現在の12月上旬）に穴太から大国主命が亀に乗って八ッ崎に着き、そこから鹿に乗って兵主大社までおいでになった。
- ・毎年12月上旬に、ご神体を琵琶湖で洗い清める。神様の復活（循環）を促す神事である。
- ・昔は、琵琶湖周辺に内湖が多くあり、田や川からの汚れた水を浄化する働きをしていた。
- ・内湖では、にごろブナやもろこの産卵場所となっていた。
- ・野洲川→琵琶湖→雨→野洲川 の循環の摂理という、全体性を見ることが大切。

3. 《キモチカエル@兵主「食」のイベント活動》

第1弾 ひょうず料理教室&ピクニック

- 開催日 2015年5月24日
- 場所 コミュニティセンターひょうず
兵主大社
- スケジュール
10:00~12:00 料理教室（コミセンひょうず内調理室）
12:00~12:30 片づけ・移動
12:30~14:00 昼食・ピクニック（兵主大社）
※兵主大社宮司さんによる、兵主の食についてのお話もあり
- 料理内容
 - ・湖魚料理の定番「えび豆」と「たてぼしご飯」
 - ・かけな汁（希少な兵主特産・伝統野菜「兵主蕪」と手作り味噌「さくらっこ」のお味噌汁）
 - ・お漬け物
- 参加者・・・14人



(アンケート集計)

1、本日の感想

- ・交流があり楽しかった ・新しい発見があった ・兵主大社、そのものや庭の話を知りたい
- ・勉強しながら美味しく頂けた ・宮司さんのお話は大変興味深かった
- ・地元の食材を使った料理やピクニックは楽しかった ・えび豆は自宅でも作ってみたい
- ・地域のことが勉強できるので、是非地域の方に来て頂けるものになると良い
- ・蛍の話が心に残った ・食材のエピソードを交えた料理教室、楽しかった
- ・楽しいと頭に入りやすい ・親子での参加を次回以降増やせたら良いのでは
- ・料理教室は、参加者と会話をしながら作り、楽しかった
- ・どの料理も美味しく出来上がり、満足
- ・皆さんと楽しくCOOKINGでき、良いお天気の下ピクニックできて良い企画。プラス学び時間があつたのがポイント
- ・自家用車がないと遠い、バスが少ない・兵主大社の木立ちが気持ち良かった
- ・料理を通じてコミュニケーションが取れて、参加者同志の距離が縮まる
- ・料理を通じて兵主の食材のことが知れる、作り方を教わり、自分の生活に活かすことができる
- ・食の素晴らしさを痛感、第2、3回と続けていくべき！

2、兵主の好きなところ

- ・兵主大社という立派な大社があること ・夏は田んぼの水で涼しく過ごせる
- ・宮司さんが地域で育った特色あるものを誇りと愛着を持って、改めて歴史から伝わってきたことを未来に伝えたい思いに感動
- ・歴史ある魅力溢れる地域 ・宮司さんの蕪の取り組みに感動 ・自然の多く残った兵主大社
- ・兵主菜の普通の菜と違う葉の形をしているところが好き ・のどかな田園風景
- ・地元の食材の豊かさ ・水たまりの横だったので虫が多かった ・兵主蕪のルーツ

3、今後のキモチカエル活動への期待

- ・昔ながらの料理を知ってもらえる機会があれば嬉しい
- ・「兵主市」是非そのあしがかりを作ってください
- ・室町時代から独自性の兵主蕪をアピールすることを期待 ・食材の収穫体験
- ・料理の勉強会（これから第2、3回と） ・地域の魅力MAP作り ・鮎ずしの漬け方講座
- ・地域の皆さんが知らないことを毎回盛り込んだ内容になれば楽しいのでは？
- ・宮司さんも期待応援されている様子が嬉しかった ・他の地区の郷土料理も作りたいです
- ・ピクニックコースの拡充 ・兵主蕪の新しいレシピにチャレンジ
- ・メンバー以外の方を多く呼び込むこと
- ・地元のもので作った料理が地元の古くから伝わっていた手法で更にONLY ONEの料理であるものであってほしい
- ・男の豪快料理（コイの洗いやアメノウオの刺身、コイのまる揚げ、フナー匹煮込みなど）
- ・料理教室→ピクニックの繰り返し

第2弾 ビワマスじゅんじゅんパーティ&ピクニック@兵主大社

○開催日 2015年9月27日

○場所 兵主大社

○スケジュール

10:00～11:30 じゅんじゅん準備、「兵主アドベンチャー～動物を探せ！」

11:30～12:00 ビワマスのお話（NPO法人 家棟川流域観光船 北出肇氏）

12:00～13:30 ビワマスじゅんじゅんPARTY

13:30～14:00 兵主さんクイズ！（兵主大社宮司 井口昌宏氏）

○料理内容 ビワマスのじゅんじゅん、フルーツポンチ

○参加者・・・16人

○内容

「兵主アドベンチャー～動物を探せ！」

- ・事前の調査で、兵主大社には様々な動物の石像があることを知り、それらを子ども達が探す「アドベンチャー」的な遊びを考案した。
- ・この地に大国主命が鎮座される際、亀と鹿に乗られてきた伝承がある。そこで、子ども達に発見した動物達の中で、兵主大社の主人公とも言える動物を当てる問題を出した。
- ・アドベンチャーマップを渡し、動物探しを開始！制限時間約30分間で、子ども達とキモチカエル@兵主のメンバー2人が、兵主大社の敷地内を駆け巡った！
- ・子ども達は、意外に早くほとんどの動物を発見した。しかし、主人公当てクイズには、「うさぎ」や「こまいぬ」と答えた。答えが亀と鹿と知り、兵主大社について勉強になった。



ビワマスのお話

(NPO法人 家棟川流域観光船 北出肇氏)

- ・パネルを使い、家棟川にビワマスの遡上を増やす取り組みについてお話をいただいた。
- ・現在の産卵床は、岩が多い。ビワマスが産卵のために穴を作ろうと尾を叩きつけ、体を痛めてしまう。川底に砂利を敷き詰め、産卵床を作る取り組みをしている。

(ビワマスフォーラムにて：今年は、産卵床に20匹ほどが遡上しているのを確認できた。)



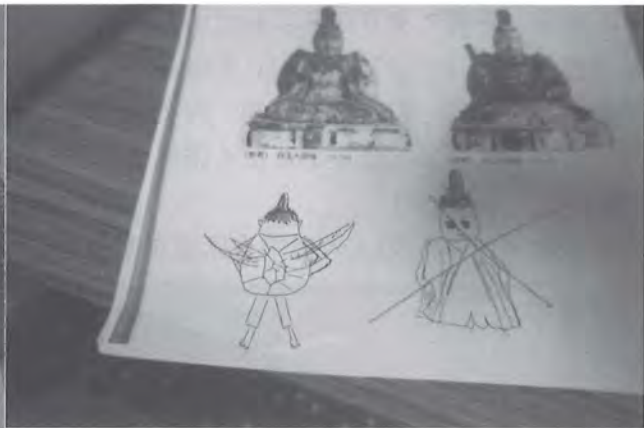
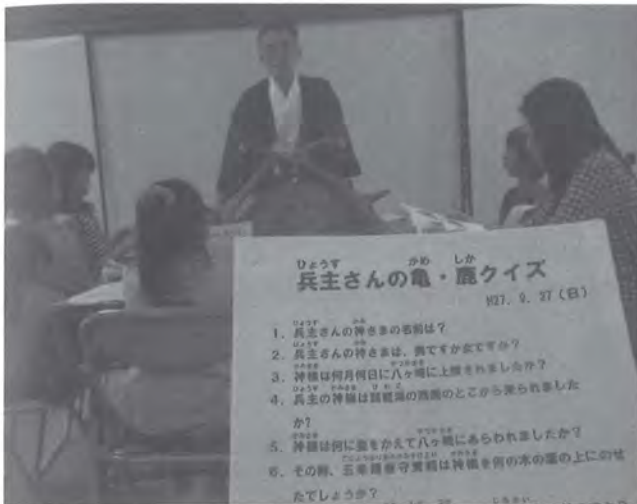
ビワマスじゅんじゅんPARTY

- ・兵主大社の台所をお借りし、野菜やビワマスを切ったり準備をした。
- ・兵主大社の敷地内にある四阿に食材を運び、鍋に入れてじゅんじゅんを作った。
- ・じゅんじゅんは、すき焼きと同じ味付けで、肉の代わりにビワマスを入れて味わった。
- ・地域のフルーツで、フルーツポンチを作った。子ども達に大人気で瞬く間に無くなった。



兵主大社クイズ (井口昌宏宮司)

- ・子ども達向けに、サプライズで兵主さんクイズをご用意いただいた。(お菓子の景品付！)
- ・子ども達には少し難しい問題もあったが、お菓子欲しさに、競って手を挙げた！
- ・クイズの中には「兵主アドベンチャー～動物を探せ！」と同じ問題があり、覚えてたの答えを早速、披露した。
- ・兵主大社が、ゆるきゃらを募集中。子ども達で、ゆるきゃらを描いた。



◇ 「ビワマスじゅんじゅんPARTY&ピクニック@兵主」の成果

- ・ビワマスのお話を聞き、その生態や希少性を知りながら食した「ビワマスじゅんじゅん」は、格別に美味しかった。「食」を通じ、ビワマスの遡上を増やす意識の向上に繋がった。
- ・この日、子ども達が兵主大社で遊んだり、宮司さんのお話を聞いたことは、大人になっても忘れない思い出になるだろうと期待する。次世代の子ども達に、地域のシンボルである兵主大社に愛着を持たせるきっかけになった。



第3弾 兵主が大好きな方のための～気楽に茶話会～

○開催日 2015年10月24日(土)

○場所 コミュニティセンターひょうず

○スケジュール

10:30～11:30 1回目

14:00～15:00 2回目

○内容

・若い方、子育てママから、おじいちゃん、おばあちゃんまで、琵琶湖のビワマスでつくった特製焼きたての「ビワマスパン」をほおばり、お茶やコーヒーを飲み、おやつを食べながら、兵主の好きなところ、お宝、じまん、昔のこと、お祭り、くらし、ちょっぴり気になることを、テーマに沿って気楽にお話しいただく茶話会スタイルのワークショップを実施。

○参加者・・・約35人(途中退席者を含む。アンケート回答者は26人)



(主なアンケート集計結果)

1. ビワマスパン試食アンケート

(1) パンの味はいかがでしたか？(回答者：24人)

・・・美味しかった61.5%、普通30.8%

(2) 地域の食材の良さを感じましたか？(回答者：25人)

・・・感じた88.5%、感じなかった7.7%

2. 気楽に茶話会アンケート

(1) 回答者の属性

・性別(回答者：26人)・・・女性77%、男性23%

・年齢層(同上)・・・60代38%、50代・70代各19%、10代・40代各8%、30代・90代各4%

・所属・職業(同上)・・・主婦46%、無職23%、会社員11%、農業8%、行政職員・学生・他各4%

・お住まい(同上)・・・兵主地区50%、その他野洲市38%、他12%

(2) 内容について(回答者：20人)・・・非常に良かった20%、良かった80%

(3) 兵主にとって一番大切なもの

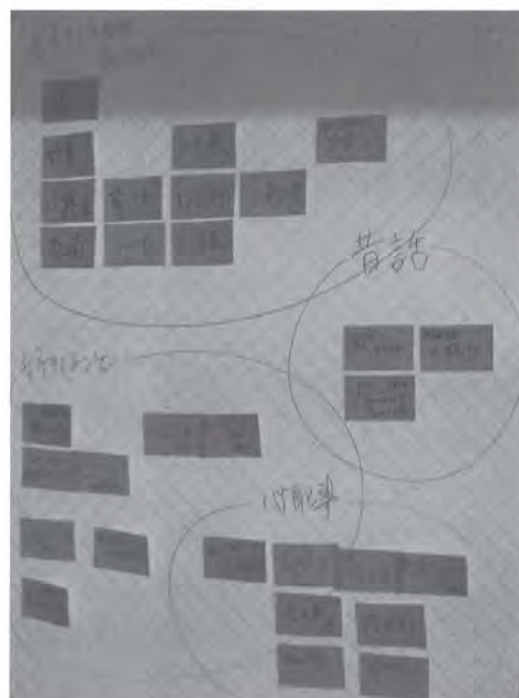
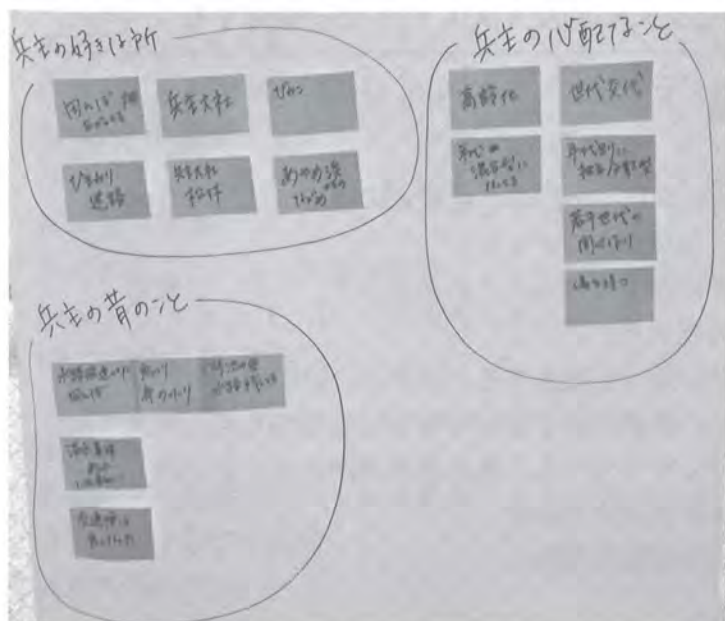
- 兵主祭（の継続）・・・4名
- 兵主大社・・・2名
- 人と人とのつながり（交流、コミュニケーション、近所付き合いが良い、地域の人の団結力、助け合い）・・・7名
- 自然（豊か）・・・4名
- 生活がやりやすくする・・・1名（野洲市内在住、50代、農業、女性）
- 若者・・・1名（近江八幡市在住、40代、行政職員、男性）

(4) 兵主で一番心配なこと

- （農業）後継者不足・・・3名
- 高齢化・・・3名
- 若者の流出（兵主在住、60代、主婦）
- 人口の減少（兵主在住、70代、無職、男性）
- 自然を残すこと・・・2名
- 地震・台風等の災害（野洲市内在住、50代、農業、女性）
- 琵琶湖岸の浸食化・汚染（兵主在住、60代、農業、男性）
- 店が少ない（野洲市内在住、60代、無職、女性）
- 事故の場合の連絡（兵主在住、90代、無職、女性）

(5) 主なご意見・ご感想

- 色々な茶話をして楽しかった。（兵主在住、40代、会社員、男性）
- 色々と話しができ、参考になりました。（野洲市内在住、50代、農業、女性）
- 日頃話すことない方たちと野洲（兵主）の話しができて楽しかったです。
（兵主在住、30代、主婦）
- 近くに住みながら、兵主の特色が分からない。（野洲市内在住、60代、主婦）
- 年間の行事を皆参加出来るものがもっと欲しいです。（兵主在住、90代、無職、女性）



ビワマスパン

材料

強力粉：200g、米粉：100g
 イースト：6g、塩：3g、さとう：27g
 油脂(バター)：27g、たまご：50g
 牛乳90ml、水100ml、ビワマス：90g
 炒りごま：30g、大豆(茹でたもの)：60g

トッピング

ビワマス：30g(ほぐしておく)、
 玉ねぎ30g(みじん切り)、
 炒りごま：少々、シュレッドチーズ：45g



作り方

- ① 強力粉、米粉、イースト、さとうを合わせてたまご、牛乳、水を合わせたものに加えて、塩を加え捏ねたり叩いたりしながら(約15~20分位)グルテン膜を確認する
- ② 生地をまとめて、第一発酵させる(ボウルに油脂を塗りまとめて生地を入れ、ラップをして)30~40分
- ③ 生地を50gに分割し、丸めて、ベンチタイムを(15分)とる。その時、固く絞ったふきんをかぶせ、ナイロン袋をかぶせる(乾燥させないこと)
- ④ ベンチタイムが終わった生地を、10cm位に広げ、スケッパーで1cm角にカットして紙、またはアルミカップに入れ、仕上げ発酵させる。ふきん、ナイロン袋をかぶせ、30~40分
- ⑤ 発酵が終われば、たまごを塗り、トッピングをして、190°C13~15分焼成する

中主漁業協同組合・松沢松治さんのお話

- ・アメノイオ(地域の方は、ビワマスとは言わない!?)は、琵琶湖の中では水深80mより深みにいるので、昔の漁師には採ることができなかった。
- ・名前の通り、雨が降り、川が増水したときに遡上をする。これを狙って、川沿いの集落の人々が採ることができた。(兵主大社のヤナバ)
- ・野洲のアメノイオは、家棟川→童子川→中の池川を遡上する。しかし、途中で3mもの落差があるため、それ以上は遡上できない。落差のある場所の手前は岩盤のため、アメノイオが体を岩に叩きつけて産卵場所をつくらうとする。良い産卵場所をつくるために、川底に砂利を敷き詰めるプロジェクトが進行中である。
- ・魚は、環境を良くすれば沢山増える。放流や駆除は意味がない。

「兵主大社1300年祭に向けて、“食”で兵主を楽しもう。」

兵主大社×地域食文化

○主旨

“兵主大社”と“地域食文化”を地域の方々、特に若い世代に再認識をいただき、兵主大社1300年祭に向けて、地域が一体となり盛り上がる風土をつくる。

- ・地域では周知が行き届いていない「1300年祭」をPRした。
- ・地域の方が興味を持ちやすい“食”をテーマとし、地域食材でつくった兵主丼を披露した。
- ・地域でつくるマルシェを目指し、出店者は、兵主地区や野洲市に在住の人々に依頼をした。
- ・主催者として「兵主マルシェ実行委員会」を結成した。地域の女性3名が参加した。(実行委員会議1回、FACEBOOKグループページを作成。)

○開催日 2015年11月23日

○場所 兵主大社

○スケジュール

- 11:00 兵主マルシェオープン
- 12:30~13:00 ピアノ&ソプラノ演奏
- 13:00~13:20 兵主太鼓保存会の演奏
- 13:30~14:00 兵主大社宮司さんとじゃんけん大会
- 15:00 終了

○出店者と出品物 (参道に沿って店舗、ステージを配置)

- ・カフェゴサク (オムライス、近江牛カレー、スープ、コーヒー)
- ・NiceTimes (滋賀の地酒、中華粥、スイーツ)
- ・じのもんや (兵主かぶのご講汁、甘酒、玉こんにゃく)
- ・古布工房Y (手芸品)
- ・はな*はん+3tree's (消しゴムはんこ、エコクラフト)
- ・ちゃた (似顔絵)
- ・ファーマーズ・マーケットおうみんち (農産物加工品)
- ・桜味会 (味噌)
- ・レイクスファーム (無農薬野菜、ブルーベリー加工品、お菓子)
- ・teco. (コットンパール、アクセサリー)
- ・CHIK-TON (手芸品)

○来場者数

- ・約300人 (正確なカウントは無し)
- ・食事の販売数約120食
- ・演奏鑑賞約25名



○広報

- ・ひょうず収穫祭にてチラシを配布（約300枚）
- ・コミセンひょうずにチラシを設置（約200枚）
- ・周辺地域にポスティング（約300枚）
- ・兵主大社庭園紅葉ライトアップの広報に掲載（野洲市環境経済部商工観光課の協力により）
- ・FACEBOOKのページを作成、告知（リーチ2009人、いいね！199人）

○ビワマスの兵主丼(販売数、約60杯)

- ・キモチカエル@兵主がオリジナルでレシピを考案し、出品した。（レシピ担当：中井、藤岡）
- ・ビワマスをはじめとした、地域の食材で作った。
- ・井口昌宏宮司のお話を、「聞き書き」としてまとめた冊子を同時に配布した。



グループ活動

キモチカエル@兵主

ビワマスの兵主丼

材料（4人分）

米：2.5C(400g)、ニンジン：20g、ごぼう：15g、ビワマス：200g
干しシイタケ：1枚、炒りごま、生姜、刻みネギ、柚子
醤油：40ml、酒：20ml、みりん：20ml、しいたけの戻し汁：2.5C（500ml）

作り方

干しシイタケは水に戻す。戻し汁は残して置く。

米を洗い、ざるに上げて水切り。

ビワマスは3枚おろし、

しいたけの戻し汁、醤油、酒、みりんを沸騰させ、中にビワマスを入れて煮る。ざるにあげて、身と汁に分ける。身をほぐす。煮汁はご飯を炊くときに使用する。

煮汁の量を計り、水を加えて3Cにする。（600ml）

炊飯器に米、しいたけ、ニンジン、ごぼう、ビワマス、針生姜を入れて炊き上げる。よく、蒸らす。全体に軽く混ぜ合わせる。

（盛り付ける） 刻みネギと柚子の千切りをトッピングし、炒りごまを振る。

地元演奏家による音楽生演奏

- ・井口昌宏宮司のご子息である穂高さんと、ソプラノ歌手徳田亜由美さんのユニット「SPISSO」のピアノと歌声が、兵主大社に響いた。
- ・兵主太鼓の保存活動をする「兵主太鼓保存会」の中・高校生チームが、太鼓演目を披露。保存会には、地域に住む人たちだけでなく、地域外からも活動に参加して練習に励んでいる。



兵主大社宮司さんとじゃんけん大会

- ・出店者からのプレゼントをかけて、井口昌宏宮司と子ども達とのじゃんけん対決を行った。
- ・途中から、大人が参加する場面も。親子参加で、とても盛り上がった。



◇「兵主マルシェ@兵主大社」の成果

- ・天気が心配されたが、予想以上の来場があり、多くの地域の方々に楽しんでいただいた。特に、子ども達は敷地内を駆け回ったり、縄跳びをしたり、楽しんでいた。
- ・出店者からは「兵主さんで、このようなイベントができるイメージが湧いた。」、「こんな素敵な場所があるとは知らなかった。」という声があるなど、兵主大社の存在価値を、地域の若い担い手が認識いただくきっかけになった。
- ・地域の食材でつくったピワマスの兵主丼は、大好評だった。兵主丼と一緒に「兵主大社聞き書き」を手渡し、地域食材の背景を知っていただくきっかけになった。
- ・地域の方を巻き込んだ実行委員会にとっては、大きな成功体験となり、また、実績となった。次回の実行委員には、より多くの地域の方に参加をいただける可能性が大きくなった。
- ・突然の申し出にもかかわらず、井口宮司に「じゃんけん大会」にご協力をいただいた。ご挨拶では、「今後も、兵主さんを宜しく願います。」と、地域の人々へのメッセージが印象的だった。

4. 《キモチカエル@兵主 今後の活動》

現状 MISSION

兵主マルシェは盛況に終わったものの、キモチカエル@兵主のミッションを達成するには、より多くの地域住民に関わっていただく必要がある。

目標 GOAL

キモチカエル@兵主は、兵主での活動の継続として、2018年の兵主大社1300年祭までの2年間で、兵主マルシェを2回開催する。そして、“兵主大社”と“地域食文化”を地域の方々、特に若い世代に再認識をいただき、兵主大社1300年祭に向けて、地域が一体となり盛り上がる風土づくりを継続する。

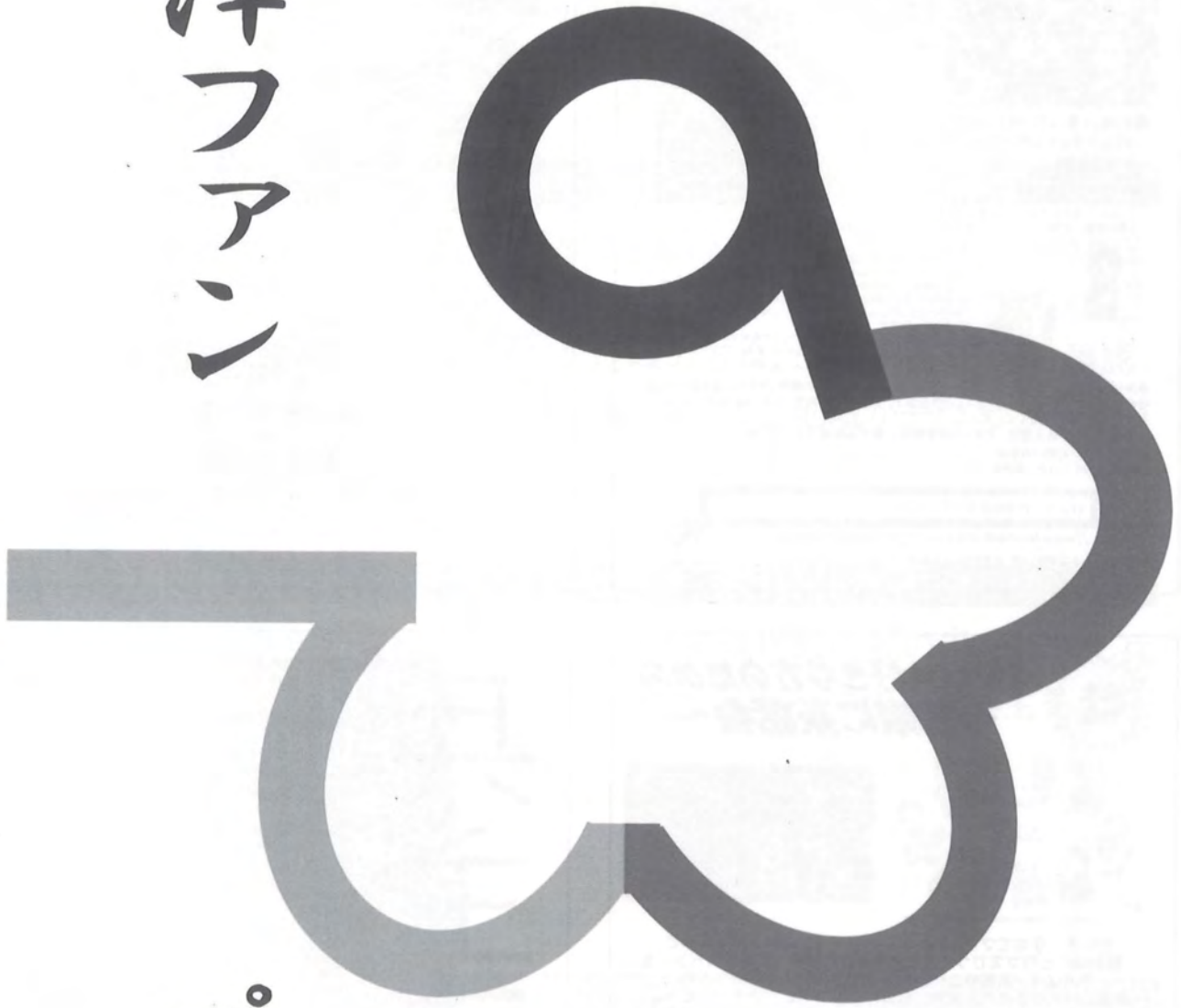
展望 VISION

兵主大社1300年祭を終えた後も、引き続き地域住民の手によって兵主マルシェや、それに代わるイベントが恒例行事となり、「兵主を大好き」な人々で溢れる未来を展望する。

キモチカエル@兵主の、塾生としての活動は終わった。

ここからが、地域プロデューサーとしてのスタート。

草津ファン



プロ

グループ活動
草津ファン☆プロ

1. 草津ファン☆プロとは？

(ミッション)

草津の歴史をはじめとした魅力と出会う旅を通じて、草津と人を、人と人をつなげる。

(目的)

メンバーの身近な人や草津に興味があるけど、個人ではなかなか足を運ばない人に対して、**草津を知り、体験できる出会う旅を提供する**。また、フェイスブックを通じて草津の情報発信を行うことで、気軽に草津のことを知って頂く環境を整備する。

(参加者の Before ⇒ After のイメージ & 私たちの仮説)

草津っていろいろあるのは知っているけど、いまひとつ人に伝えられない。知りたくても気軽に、しかも楽しく参加できる場ってあるのかな？ 引っ越してくる若い人も多いようだけど、将来も草津の魅力は残って伝わっていくのだろうか？



草津ファン☆プロの旅（活動）に参加すると、これまで知らなかった草津を楽しく体験できるし、行った先の人やことを自分の身近な人にも紹介出来て、自分もいろんな出会いを作ることが出来る！ こうした場がいろんなところで出来ることで、交流人口が増えるし、草津の魅力は守られ、語り継がれるのではないだろうか！？

(名前の由来)

草津	わたしたちの活動するフィールド
ファン	わたしたちが草津好きになる（である）「FAN」、愉しんで活動に参加するの「FUN」
プロ	<ul style="list-style-type: none"> 草津の「PRO」DUCT（モノ）や「PRO」FESSIONAL（人）との出会うの場を作り、「PRO」CESS（歴史・参加の過程）を共有する そして私たちの目指す地域「PRO」DUCER（願い）
☆	人や地域の「輝き」を見つけ、各所に手を伸ばしそれらを「つなげる」

(メンバー)

役割	氏名	特徴
代表 (未来塾)	宇那木 潤 (大津市)	会社では副部長、ファン☆プロでは社長、2つの役職を持つ男！ 草津ファン☆プロの生みの親。全てはこの男のコメントから始まった！！
代表 (草津市)	石本 恵津子 (草津市)	3度のメシより草津が大好き！！えふえむ草津パーソナリティ。恵津子美声を知らない奴は、草津では生きていけないとの都市伝説も・・
副代表	谷口 浩 (近江八幡市)	草津ファン☆プロの活動は、この男の熱い思いから始まる！ 草津を想い、いつかは草津市民を目指して、今日も草津のどこかで熱く語る。
編集	谷口 真理子 (近江八幡市)	草津は通勤で通過するだけ。でも、いつかは私の終着駅に・・ 熱く語る浩とともに、草津市民の座を虎視眈々と狙う！
会計	福永 哲也 (甲賀市)	ファン☆プロの金庫番。明朗会計で不正支出は許さない！ ミーティングでは「現実的な視点では～」から、話し始めるのが口癖。
広報	藤田 太裕 (草津市)	ご存じ 13 期生の若きエース！ 社長のスカウトで、草津ファン☆プロメンバーに。広報、司会で大活躍！！あまりの安定感とそのオーラに、年齢不詳の疑惑が・・

◎この活動に至った理由

メンバーも平日仕事・学業のあるメンバーばかりで、活動時間の制約がある。かつ、活動の軸に出来るような個性もない、草津のことも分かっていない。それでも何か活動をしたいし、そうした市民も多いと考え、私たち自身が学ぶ機会を作って一緒に歩んでいきたいと感じたため。

◎メンバーの想い

年齢・住所・職業・性別、さまざまな違いは有るけれども、メンバー 6 名には共通点がある。生まれたところと違うところで現在暮らしているということである。私たちは、それぞれが自分たちと同じ地縁の薄い、少し不安な想いを抱く人の役に立ちたいと感じているようだ。その人たちにも住みよいまちにしたいという熱い思いをもっている。草津を想う気持ちで 1 つになった仲間とともに、「粉骨砕身」で、頑張ります！

2. 活動のステップ

草津で活動してみたい！

草津のフィールドワークを絶え間なく行いながらグループ活動の方向性を議論

(テーマは特になし。まずは草津の人に会うことに奔走)



草津の魅力を発信したい！

(メンバー自身分かっていないが何となく草津各所のまち歩き)



そもそもメンバーのやりたいことは？

(外国人支援、食と農業、企業向けの地域参加支援、コミュニティビジネスなどバラバラ)



具体的な候補地をめぐる

(小笹農園、木瓜原遺跡など)



キーワードを「歴史」に決定！

(メンバーの興味のあることを歴史と紐づける)



草津の中で情報発信のニーズもあり

(市からの依頼やフェイスブックで草津の情報が少ない)



歴史ツアーと情報発信をテーマに！

(参考) 草津ファン☆プロの主な活動

主な活動	回数等
ヒアリング回数	3回
イベント主催回数	2回
イベント情報発信回数	3回
ミーティング回数	14回
草津の人々との出会い	15回
・草津市円卓会議 ・草津市草津川跡地整備課主催 くさねっこカレッジ等	

立命館大学内 木瓜原遺跡見学



南山田地区 小笹農園見学



くさねっこカレッジで草津川跡地の市民活動を考える



草津ファン☆プロミーティングの様子



未来塾先輩からの助言を頂く



3. 草津ファン☆プロの事業内容

【事業1】 草津の歴史ツアー

◎趣旨

草津ファン☆プロでは、市のような大きな単位でなく、市民が自主的に（私的に）活動を生むことを重視して、草津を「気軽に・現地で・人とつながりで・知る」ためのツアーを立ち上げ、草津のために頑張る第一人者に、草津の特徴などを語って頂く。また可能な限り現地で見て・触って・作る体験を盛り込む。



◎目標

実施回数3回、参加人数計15名（メンバー除く）、イベントノウハウの蓄積

【事業2】 フェイスブックによる草津の情報発信

◎趣旨

草津のことを発信するグループページはそれぞれ単体でつながりがないため、草津ファン☆プロがそれらの情報を積極的にシェアして、ここを見れば草津の情報分かる場所を作る。またシェアだけでなく、市民活動の第一歩としてメンバーが見聞きしたことも投稿する。また、また塾で出会った方からの情報発信やその主催イベントに参加できるヘルプ（お誘い）情報も発信する。



◎目標

投稿記事数40、いいね数（累積）2,000 リーチ数10,000

【草津の歴史ツアー第1弾】 クリスマスブーツを作ろう！

項目	内容
企画理由 (ねらい)	クリスマスブーツは草津発祥であり、現在でも全国シェアが9割を超える日本屈指のクリスマスブーツの生産地である。それを一手に引受ける株式会社近商物産から発祥のきっかけや生産の裏側を伺うとともに実際にクリスマスブーツを自分たちで製作することで、楽しく草津への理解を深める。
開催概要	【日時】 2015年9月26日(土) 14:00~16:00 【場所】 講演：近商物産(草津市西大路町) → 製作：草津まちづくりセンター 【参加者】 10名(内グループメンバー6名) 【参加費】 500円/人(材料費含む) 【プログラム】、@草津市立まちづくりセンター
準備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシを200部作成し、まちセン他草津市の図書館等の市の施設に配置。 ・ Facebookでイベントページを立ち上げる ・ 講演依頼(近商物産様)、会場手配 ・ 備品手配(クリスマスブーツ組み立てキット、ブーツ内に詰め込むお菓子)
プログラム 内容	<p>【講演内容】 クリスマスブーツの由来の説明@株式会社近商物産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者のアイデアからクリスマスブーツの生産・販売が始まる(海外にはこの文化はない) ・ 以前は同業他社も居たが、現在はほとんど手掛ける会社がいなくなった ・ 繁忙期はクリスマス前だが、需要が多いため1年中生産している(9月も繁忙期) ・ 生産は草津の工場だけでなく、滋賀県下の内職も重要な担い手である ・ クリスマスブーツはかさばるため広い空間が必要で、滋賀の広い家や内職の存在が欠かせない ・ 顧客はお菓子の卸業者や幼稚園などの子ども向けのサービスを手掛ける団体がメイン <p>【体験内容】 ブーツの組立とデコレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同社が販売するクリスマスブーツキットの組み立て ・ ブーツに草津ファン☆プロが準備した装飾をつけてお菓子を入れる(プレゼントにも使える) ・ 完成品を持って全員で記念撮影
写真記録等	 <p>↑世界初のクリスマスブーツ誕生秘話・ブーツにかける情熱を熱く語って頂いた、近商物産の野田さおりさんと将野志保里さん</p>



↑クリスマスブーツの材料を購入し、事前に近商物産様より講習を受けた谷口真理子さんの指導によるブーツ作り☆ … お菓子も詰めて大満足！

<p>振り返り</p>	<p>【内容に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供向けか大人向けかが明確でなかった → 前半：大人向け、後半：大人、子ども向け ・ どうして草津で発祥し、現在も継続しているのか一端を知れる内容であった <p>【関係者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供向けには年に1回程度、組み立てワークショップの手伝いを依頼されることはあったが、大人向けの依頼は始めて。ただ、興味深く聞いてもらえたのは良かった (近商物産様) ・ クリスマスブーツの会社があることは知っていたが、社名や場所、歴史等は知らなかった (参加者) <p>【運営に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場決定とチラシの配布活動をもっと早くすべきであった ・ 会場であるまちセンをもっと早く予約するには、草津市の登録団体となる必要がある → 草津市民のメンバーを増やすか、協働してくれる団体が必要 ・ イベント参加において、電話・メールでの申し込みが全くなかった → 広報方法の再検討
<p>総括</p>	<p>近商物産様の「クリスマスブーツ」は歴史的にも非常に魅力がある素材だと確信できた。また、草津ファン☆プロの実質初めての主催事業であり、課題も多かったものの一歩を踏み出し、関係者に影響を与え、メンバー自身も楽しさを体感したことで、活動の励みとなった重要な日となった。</p> <p>メンバー以外の地元の方（南部さん）にご協力頂き、その日の様子をYouTubeで発信した。後日近商物産様専務から喜びの声を頂き、そのことを知った他の市内業者様から今後企業様との連携も検討出来る内容だったと評価頂いた。</p> <p>多様な情報発信の仕方・外部の方の協力という今後の活動に繋がる体験だった。</p>

【草津歴史ツアー第2弾】日本旅行発祥の地ツアー

項目	内容
企画理由 (ねらい)	草津は大手旅行会社である株式会社日本旅行の創業地であるとともに、同社が歴史上始めて団体旅行を企画したことから団体旅行発祥の地でもある。そして草津は重要な宿場町である。草津がこうした「旅」のまちであることを、そのゆかりのある地で関係者から直接その歴史を聞き、まちを歩くことで楽しく草津への理解を深める。
開催概要	<p>【日時】 2015年10月24日(土) 10:30~15:00</p> <p>【場所】 午前：草津まちづくりセンター、午後：草津宿本陣、夢本陣、街道交流館</p> <p>【参加者】 19名 (内グループメンバー4名)</p> <p>【参加費】 1,000円/人 (昼食費、入館料含む)</p>
準備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシを100部草津市コミュニティ事業団さんの協力で草津市の各施設に配置 ・ 講演依頼 (日本旅行、草津宿本陣、夢本陣、街道交流館) ・ 会場確保、備品購入・製作 ・ Facebookでイベントページを立ち上げ
プログラム 内容	<p>【講演内容】 日本旅行と団体旅行の始まりについて@草津市立まちづくりセンター (日本旅行・元支店長中口様、支店長岡本様)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業110周年を迎える日本旅行の創業者草津市出身の南新助氏について ・ 当時の人が旅の楽しさと大変さを味わった「高野山詣でや伊勢神宮参拝」をより快適に細かな心遣いで食事等の手配までしていた。サービス業の根本を大切にする世界初の旅行業 ・ 当時汽車が通り、駅が来ることへの周りの反対がある中、今の草津駅の土地を提供された南家 →その繋がりで駅構内でのお弁当の販売が許可される (南洋軒の駅弁) <p>昼食 (JR草津駅と関連の深い『南洋軒』の駅弁)</p> <p>「街道と宿場 当時の様子・宿泊者の様子について」@草津宿本陣など (ご当主 田中文字子様や学芸員の方)</p> <p>「草津の魅力」@夢本陣 (ボランティアガイド 森様)</p> <p>「街道交流館について」 (学芸員の方)</p> <p>「『記憶絵』について」@街道交流館 (市民活動として記憶絵を進めてこられた川崎様)</p>
写真記録等	<div data-bbox="300 1518 833 1933" data-label="Image"> </div> <p>「何故 草津で始まったか？」日本旅行の発祥、及び、団体旅行の始まりについて語っていただいた。(日本旅行、中口元支店長、岡本支店長) ちょっと気になる、当時の旅の様子についてもお聞きすることが出来た。</p>

写真記録等



講師と参加者が交流しながら、JR 構内で販売された南洋軒の駅弁を食べる



午後の参加者全員で記念撮影 草津宿本陣にて（南部様提供写真）

振り返り

【内容について】

- ・ 他では企画されていないオリジナルの企画を組むことが出来た（内容は詰め込みすぎ？）
- ・ 日本旅行様からもこうした企画は始めてで貴重な歴史を伝える場と評価頂いた

【関係者の声】

（申込）電話 3 名、メール 1 名、Facebook 6 名 メンバーへの申し出 3 名
（アンケート結果）13 件

- ・ 「また参加します」と多数回答あり。
- ・ 企画を知った媒体 Facebook 3 チラシ 2 人 9（重複あり）
- ・ 関心があった企画

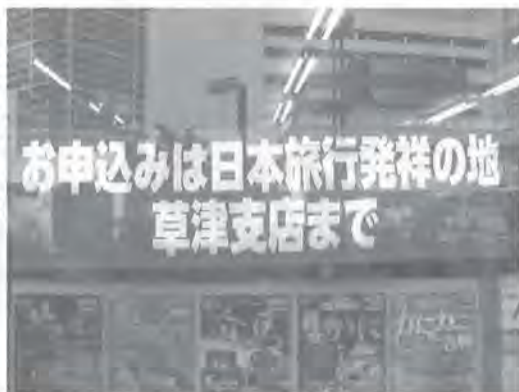
日本旅行・団体旅行発祥の地のお話	8
駅弁・南洋軒のお弁当	2
草津宿本陣（ご当主の講話）	5
街道交流館	1

以下感想

- ・ 「歴史を知ることは足元を照らすことで、とても良い企画だと思った」
- ・ 「時代物のドラマでみたようなのが実際に見られて感動しました」
- ・ 「記憶絵素晴らしかった」
- ・ 「南グループのお話が聴けて勉強になった」

- ・「解説が駆け足で時間の組み方を失敗している」
 - ・「草津宿本陣当主さまのお話は面白い」
 - ・「本陣は変わらず周囲の環境が変わり続けているということが印象に残った。ご当主の雰囲気良かったです。」
 - ・「日本旅行が団体ツアーの最初であったということ。草津線が開通した経緯を初めて知って驚いた」
 - ・「（記憶絵を見て）草津に競馬場があったことに驚いた」
- 【運営について】
- ・ Facebook「草津ファン☆プロ」に開示したのが奏功
 - ・ 草津市職員の方や一緒に市民活動をしている人（くさねこと草津市との協働の草津パールプロジェクト）も参加された→市民活動団体の横の連携の大切さを思うと会場であるまちセンの登録団体となることが今後の活動の充実に繋がる。その為にも登録要件である市民比率を高める必要がある
 - ・ 草津宿本陣で前もってお願いしていたご当主様がいらっしゃらないというハプニングで時間が遅れ、その後の企画にずれ込む。遅れて来られたがアンケート結果でもご当主様のお話が良かったとのお声が複数あり、予定時間を伸ばしてでもやって良かった。ツアーの難しさを実感。

総括



（石川様提供写真）

日本旅行草津支店様に上のような表示がある。知られていない草津の魅力について日本旅行の元支店長様のご協力を頂き語って頂いた。現草津市商工観光労政課の課長様も聴きたいと参加された内容だ。

滋賀県内の JR 乗降者数トップの草津駅の成り立ちを知ることが出来る機会となった。

今回講師の方をお願いするのに、草津商工会議所、草津市商工観光労政課、ボランティアガイドさん、草津街道交流館など多くの方のご協力を頂いた。

ネットワークが広がるほど太くなるほど、提供できる企画が魅力的になり、個人では聴くことの出来ないお話が聴け、体験でき、草津の魅力として広がることになる。

当初、色々な方々と出会う旅をしていたことの価値がようやく見え始め、自信につながり、草津ファン☆プロの存在意義を感じることが出来た。

【事業2】フェイスブックによる情報発信活動

9月、草津市に申請していた「草津市市民まちづくり提案事業」の採択通知が届き、平成28年も草津ファン☆プロとして活動することが決定！

藤田氏より「今後も活動するなら11月はイベントじゃなく、情報発信強化月間とかにしませんか？」との卒業後の活動を見据えた提案により、11月は情報発信強化月間に決定。

2回の大きなイベントにおいて、情報発信を決行。

4月に行った草津宿場まつりでのFacebook情報発信など草津ファン☆プロの活動を知る草津コミュニティ事業団から直接パワフル交流・市民の日の「草津ファン☆プロ」のFacebookでの情報発信の依頼を受け、石本はパワフル交流・市民の日実行委員として参加する

【第1弾】「市民ふれあい秋まつり in くさつ」パワフル交流・市民の日

11月7日（土）10：00～15：00

① 内容：草津市役所で、様々な分野の市民活動やボランティアをしている仲間が集い、「出会い」と「ふれあい」を楽しむイベントにおいて、1階に活動紹介のパネルを用意。草津ファン☆プロとして、イベントブース出展デビューの日であった！

② 参加人数：4名（内グループメンバー3名）
石本はパワフル交流・市民の日の実行委員として司会を兼ねる

③ 活動の総括：
・事前にフェイスブックでイベントページを立ち上げ。リーチ数は1554あった。
・メンバー以外で、情報発信をしてくれる協力者（1名）が出来た。
・イベントの情報発信は出来たが、ブースでメンバーが常駐出来なかったため、草津ファン☆プロを知ってもらう活動が不十分だった。



2016年度市民レポーター募集

草津ファン☆プロの「市民レポーターによる広報情報発信と交流による広報くさつのファンづくり」が来年度の草津市市民まちづくり提案事業に採択されました



来年度6-8月頃 市民レポーター養成講座開催予定
(写真は日本旅行発祥の地ツアーでの講座風景)



来年度の活動に興味のおありの方は、ぜひお問い合わせを！
(写真は草津ファン☆プロのページ制作記念)
(写真はクリスマスブーツを作る企画記念)

【第2弾】第5回みなくさまつり

11月22日(土) 10:00~16:00

- ① 内容 : JR 南草津駅前で開催「えんてつなぐみなみくさつ」がテーマ。昨年の「みなくさまつり」を見に行った時が、この活動のスタートだったので、外すことの出来ない大事なイベントであった。当日は、情報発信と草津ファン☆プロを知ってもらうことを目的として参加。今年を締めくくる最後の活動ともなった。
- ② 参加人数 : 3名 (内グループメンバー 2名)
- ③ 活動の総括 : ・事前にフェイスブックでイベントページを立ち上げ。
リーチ数は1628あった。
・メンバー以外で、情報発信をしてくれる協力者(1名)が出来た。
その協力者の活動エリア(国際交流)の知人をご紹介頂いた
・草津ファン☆プロの案内チラシを作成。当日、草津で活動している
7団体へ配布、来年も活動すると告知出来た。

協力頂いた中西さんと留学生ご夫婦⇒



【前弾・参考】第47回草津宿場まつり

4月26日(日) 10:00~16:00

- ① 内容 : JR 草津駅前(立木神社~光明寺)で開催される春のビッグイベント。今回は47回を迎え「新たなる時の出会い」がテーマ。石本は昨年につき実行委員(広報部会)として参加。会場での様子をメンバーが個々にFacebookに写真付きで発信し、それを草津宿場祭りのページにシェア頂くことで、遠方の方にも興味を持って頂き、参加されている方にも参考にして頂く。大学生藤田さんからFacebookにつき指導頂き世代間交流(知恵の交流)を実体験。
- ② 参加人数 : グループ6名全員(草津宿場まつりに初参加5名)
- ③ 活動の総括 : Facebookで発信するということを宿場まつりとして初めて行う
草津宿場祭りページにシェア頂いた記事数は40
うち2600以上のリーチ(記事をみた件数)があり、実行委員会に喜んで頂いた。
総・いいね数は1000近くリーチ数は1628あった。
イベントに主体的に参加することで、課題が見えることに気づく

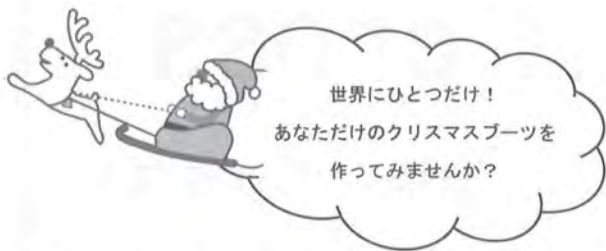
7. (参考) 活動記録

日付	2014/11/16
場所	C&S わくわく、みなくさまつり（南草津駅前）、滋鷄野
内容等	草津のイベント体験（C&S わくわく メンバー（石本）の活動拠点を訪問、みなくさまつり視察）
日付	2014/12/13
場所	草津まちづくりセンター、ホテルポストプラザ・レストランリパティエ
内容等	草津の人々との出会い（草津市円卓会議、懇親会に参加）
日付	2014/12/14
場所	ピアザ淡海
内容等	おうみ未来塾 本講座（グループ結成会議） ・活動の始まり（石本、宇那木、谷口ひ、谷口ま） *このあと福永、藤田、吉田が加入
日付	2014/12/25
場所	草津エイスクエア内サイゼリア
内容等	第1回会合（活動の方向性を確認）
日付	2015/1/4
場所	C&S わくわく
内容等	第2回会合（活動の方向性を確認、実際に活動で何をしていきたいかを検討）
日付	2015/1/11
場所	滋賀県立大学サテライト アルプラザ彦根駅前店6階、エクスプラチナム・南草津
内容等	おうみ未来塾 本講座（グループ活動を行い地域について学ぶ） ・郷土史、草津市総合計画などをもとに草津市の特徴を知る 草津の人々との出会い（草津市円卓会議の賀詞交歓会に参加） ・草津ファン☆プロの準備委員会名刺&活動内容を説明するリーフレットを作成し配布
日付	2015/1/12
場所	C&S わくわく
内容等	第3回会合（卒塾生である、小野氏・山本氏・石川氏にヒアリング）
日付	2015/1/17
場所	コーヒーハウスセント、草津まちづくりセンター
内容等	第4回会合（活動内容について検討） 草津の人々との出会い（草津市円卓会議に参加）
日付	2015/1/24
場所	草津市水生植物園
内容等	草津の人々との出会い（くさねっこカレッジに参加） *2/8、3/1、21、4/19、5/10、29も活動参加

日付	2015/1/31
場所	立命館大学
内容等	草津市内フィールドワーク（立命館大学びわこ草津キャンパス訪問）
日付	2015/2/8、11
場所	C&S わくわく、淡海ネットワークセンター
内容等	第5～6回会合（活動内容、対象者について絞り込み）
日付	2015/2/12
場所	niwa+
内容等	草津の人々との出会い（草津市企画調整課大塚参事ヒアリング）
日付	2015/2/15
場所	淡海ネットワークセンター
内容等	第7回会合（おうみ未来塾目標発表会に向けて資料作成）
日付	2015/2/22
場所	コーヒーハウスセント、草津まちづくりセンター
内容等	第8回会合（活動内容について検討） 草津の人々との出会い（草津市コミュニティ事業団相井課長にヒアリング）
日付	2015/2/28
場所	ピアザ淡海
内容等	おうみ未来塾 グループ活動目標発表会
日付	2015/3/15
場所	草津まちづくりセンター、小笹農園
内容等	第9回会合 草津の人々との出会い（草津メロンをつくる小笹農園へ、メロンを栽培するハウスの視察）
日付	2015/3/21
場所	イオンモール草津
内容等	草津の人々との出会い（「草津野菜マルシェ」を体験（市制60周年イベント））
日付	2015/4/9
場所	草津市役所
内容等	草津の人々との出会い（草津宿場祭り実行委員会に参加）
日付	2015/4/12
場所	カフェ・アレグレ
内容等	Facebook 講習会（メンバー内の自主勉強会）
日付	2015/4/19
場所	草津市役所、草津駅前商店街界隈
内容等	草津の人々との出会い（草津宿場祭りの時代行列予定地の視察）

日付	2015/4/26
場所	草津市役所、草津駅前商店街界限
内容等	草津の人々との出会い（草津宿場祭りボランティアとして参加（Facebookによる情報発信）） ・草津ファン☆プロ市民活動デビュー
日付	2015/5/24、7/26
場所	C&S わくわく、チョコカフェ
内容等	第10～11回会合（イベントの詳細について）
日付	2015/6/28
場所	ピアザ淡海
内容等	中間報告会
日付	2015/7/5
場所	木瓜原遺跡～小野山遺跡
内容等	草津市内フィールドワーク（草津の歴史探訪）
日付	2015/8/22、9/2、16
場所	南草津駅周辺喫茶店、山科駅周辺居酒屋など
内容等	第12～14回会合（イベントの詳細について）
日付	2015/9/23
場所	近商物産
内容等	イベント「クリスマスブーツを作ろう！」に向け、事前に先方と打ち合わせ
日付	2015/9/26
場所	草津まちづくりセンター、近商物産
内容等	イベント「クリスマスブーツを作ろう！」
日付	2015/10/24
場所	草津まちづくりセンター、草津宿本陣、夢本陣、草津宿街道交流館
内容等	イベント「日本旅行発祥の地ツアー」
日付	2015/11/7
場所	草津市役所
内容等	情報発信（「市民ふれあい秋まつり in くさつ」パワフル交流・市民の日に参加） ・Facebookによる情報発信と草津ファン☆プロとしてイベントブース出展デビュー！
日付	2015/11/22
場所	南草津駅前
内容等	みなくさま祭り参加 ⇒ Facebookによる情報発信と草津ファン☆プロを知ってもらう

(参考：イベントチラシと草津ファン☆プロフェイスブックページ)



世界にひとつだけ！
あなただけのクリスマスブーツを
作ってみませんか？

クリスマスブーツを作ろう

子どもから大人まで、お菓子と夢を詰めるクリスマスブーツ。サンタクロースやツリーと違って日本で発祥し独自の発展を遂げたものです。そして滋賀県草津市はクリスマスブーツ発祥の地であるのをご存知ですか？また全国で販売されるクリスマスブーツの半数以上を草津で生産しています。

草津市でクリスマスブーツを製造・販売している(株)近商物産さんでクリスマスブーツの歴史を聞いて、その後それぞれ皆さんだけのオリジナル・クリスマスブーツ作りです。今年はあなた自身が作ったクリスマスブーツをお子さんやお孫さんに贈りませんか？



9/26(土)は
草津まちセンに集合！！

10月24日(土) 団体ツアーの元祖を訪ねる！
【申込〆切 10月21日】 日本旅行発祥の地ツアー (昼食付)

日本の団体ツアーは大手旅行会社の日本旅行さんの草津発・伊勢参拝が発祥とされています。また草津と書えば東海道と中山道の分岐でもある宿場町として有名です。今回は、日本旅行さんの団体旅行発祥のきっかけについてお話を伺い、草津市の歴史まち歩きを行います。日本の旅はここにあり！ぜひ一緒に時代旅行を楽しんでみませんか？

- 【プログラム】 集合10:30 (受付10:00～) 草津まちづくりセンター3F 308号室
- 10:40 「日本旅行発祥のまち草津」～団体旅行が生まれ広がったわけ
講演：日本旅行草津支店 岡本支店長、中口 元支店長
 - 11:40 南洋軒のお弁当を食べながら参加者間交流&散策 (会場移動)
 - 13:00 草津宿本陣&草津宿街道交流館 案内ツアー
案内：草津宿本陣当主 田中文子さん
案内：草津宿街道交流館職員さん
 - 15:00 現地解散 (駅までの案内が必要な場合は同行いたします)

【お申込み】 (定員20名) 参加費：1,000円(昼食代、施設見学料含む)

参加者の氏名、年齢(学年)、電話番号、メールアドレスを記入して、下記までご連絡ください。

濱海ネットワークセンター おうみ未来塾13期生 草津ファン☆プロ
k932f-p@outlook.com 電話番号：090-8191-4178 (代表：石本)

【おすすのポイント】

- ① 普段聞けないことだけの草津のお話が聞けます
- ② 昼食も含めて草津づくしの1日が過ごせます
- ③ 少人数でゆっくりお話を聞くことができます

みなさんはじめまして！～主催者からご挨拶～

みなさんはじめまして！私たちは、おうみ未来塾は誕生から生まれた草津の魅力を発信する市民活動グループ「草津ファン☆プロ」です！草津のことを知りたい・語りたいたい方に、1人では見聞できない体験イベントを企画することで、より多くの人に草津の魅力を発信していきたいです。

草津まちづくりセンター JR草津駅西口徒歩5分



Facebookで「草津ファンプロ」と検索してね！

base Otsu_cross

(ベース・オオツ・クロス 通称：ボックス)



代表 山寄智也

会計 西山彰子

庶務 前川仁美

編集 川崎慶介

1. 活動の目的

- ・『大津ナカマチ商店街に賑わいを創り出す。』
- ・大津（Otsu）を拠点（base）に、「人と人」「活動と活動」をクロス（cross）し、『大津を盛り上げる。』

2. 活動の背景

- ・大津ナカマチ商店街が、人通りの少ない商店街になっている。
- ・JR大津駅と京阪浜大津駅の間を中心市街地活性化が、長年の課題となっている。
- ・大津ナカマチ商店街に賑わいを取り戻すために、街おこし会社「百町物語」が、平成27年1月に設立し4月より始動した。

3. 活動の方法

- ・大津ナカマチ商店街に関わる50人の方に会い、お話を聞く。
- ・大津の伝統文化である「大津絵」を使ったイベントを、開催する。
- ・商店街や商店街周辺を盛り上げる各種イベントに、参画する。
- ・大津ナカマチ商店街にある「大津百町館」を、活動時の拠点としてお借りする。
- ・商店街へのニーズを探るため、商店街アンケートを実施する。
- ・大津（otsu）を拠点（base）に、みんなでクロス（cross）！！

4. 活動の場所

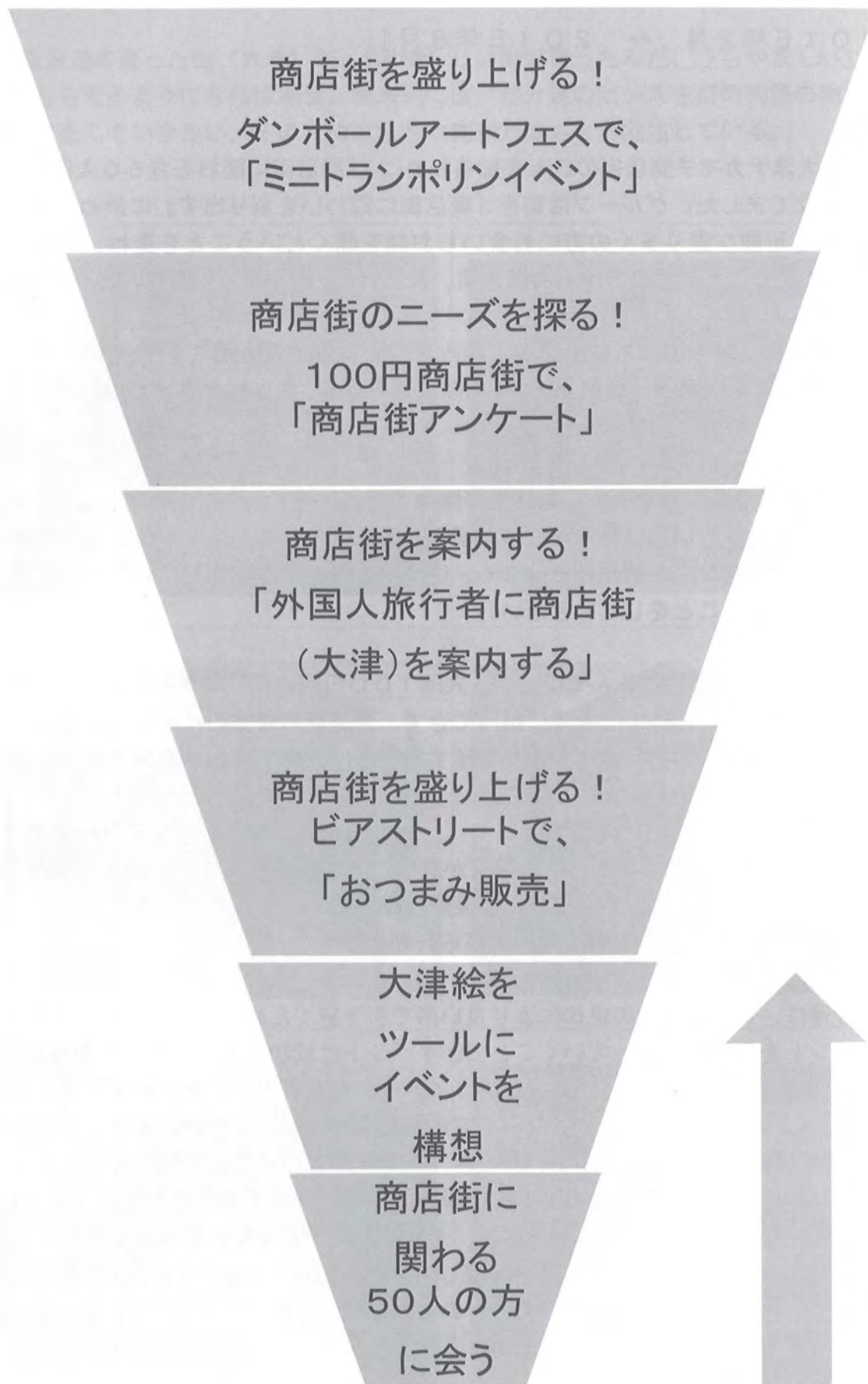
【大津ナカマチ商店街 周辺図】



【大津ナカマチ商店街】



5. 活動の経過



(1) 商店街に関わる50人の方に会う

『2015年2月 ～ 2015年8月』

まずは、大津ナカマチ商店街のことを知るために、「商店街に関わる方50人に会う」という目標を立てました。グループ活動を「商店街に賑わいを創り出す」に決めた平成27年2月頃から可能な限り多くの方にお会いしお話を聞くということを重ね、半年後には目標は達成でき、この多くの方からお話を聞いたことが、商店街での活動の礎(いしずえ)になりました。

多くの方から、商店街に対する思い・悩み・望みなどを聞かせていただいた中から、6名の方の「商店街に賑わいを創り出す」に関するお話を、次に紹介させていただきます。

- ・「商店街周辺で生まれ育った。商店街が賑やかだった頃を知っている者として、今の状態はとても寂しい。」「賑やかだった頃のように、たくさんの方が集まる商店街にしたい。」「イベントの時だけではなく、いつでも賑やかな商店街にしたい。そのために自分にできることをしていきたい。」
- ・「自分の子どもは東京に住んでいるが、大津100円商店街(年3回定期的に開催されているイベント)の時には大津に帰ってきて、大津百町館でのイベントを継続して開催してくれている。」「イベントを継続することは大変ですが、自分の子どもがそれを継続してくれているのが嬉しい。」
- ・「地域活性化のために動いている人のなかには、何も意見を言わずに動いてくれている人がいる。意見を言う人も必要だが、実際に動いてくれる人が本当に必要。」「自分に何ができるか、を常に問いながら行動している。」
- ・「自分達は、この街を次の世代により良い形で引き継ぐために頑張っている。」「イベントを継続して行っていくことで、イベントは成功する、イベントが成功すれば日常の商売につながっていく、というイメージを商店主の人達に理解してもらいたい。」「このままではジリ貧になる、何かをしなければいけない、イベントを仕掛けて、まずは商店街に足を運んでいただき、そして商店街のことを知っていただく。」「そのために月1回程度のイベントを仕掛けていく。7月下旬：第1回ビアストリート、8月下旬：第2回ビアストリート、10月初旬：大津祭宵宮でのイベント、11月中旬：ダンボールアートフェスを開催してきた、12月にもイベントを開催したい。」「すべての商店主がイベントに協力的というわけではない、商店街で商売をせずに暮らしている方もたくさんおられる、そのような方たちにイベント開催の意義を理解していただくのは難しい。」

- ・「大津中心市街地活性化に関するイベントを、いろいろと企画してきました。」「自分のしていることを引き継いでくれる後継者を探しています。活動の世代交代が難しい。」
- ・「自分達の育った街（大津）が、『素晴らしい街で育ったんだ、うらやましい』と言われてもらえるようになれば本望。将来的には、自分達のセンスを百町物語の動きの中に盛り込んでいきたい。そのために、今は先輩方のもとで勉強している。」



(2) 大津絵をツールにイベントを構想

『2015年4月 ～ 2015年6月6日』

商店街での活動を始める前に、大津の歴史、大津中心市街地周辺の地理について学びましたが、その学びの中で、「大津絵」の存在を知りました。グループメンバーのほとんどが「大津絵」というものの存在すら知りませんでした。次のことを知り、この「大津絵」という『地域資源』を使って商店街の活性化につながるイベントが開催できないか、と考えました。

- ・ 鉄道も自動車もない江戸時代においては船が重要な交通手段であり、京都に近い大津は交通の要衝として賑わっており、地元の人だけでなく旅人のお土産として「大津絵」はとても人気があった。
- ・ 江戸時代には、「東の浮世絵、西の大津絵」と言われ、浮世絵と並ぶ人気があった。
- ・ 商店街の昔からあるお店には、店内に様々な「大津絵」が飾られている。
- ・ 商店街周辺に、「大津絵専門工房」「大津絵専門ギャラリー」などがあり、江若鉄道の線路跡地には「大津絵の道」と呼ばれる通りもある。
- ・ 現在でも、大津のお土産として、「大津絵」を使った品物がたくさん存在している。

イベント開催に向けて、大津絵ギャラリーとお土産屋さんに行き、大津絵を使った品物を見学しました。次にグループメンバーで商店街の「まちなか交流館 ゆうゆうかん」に集まり、大津絵を使ったもの（ぬり絵・粘土細工・うちわ）を実際に作ってみました。どのようにイベントに結びつけるかというところで行き詰まり、今の自分達の大津絵に対するレベルではイベントの開催は不可能との結論に至りました。

結局、イベント開催には至りませんでした。『地域資源』である「大津絵」の発見を通じて、商店街周辺の歴史や地理を学ぶことができました。



(3) 商店街を盛り上げる！ ビアストリートで「おつまみ販売」

『2015年6月 ～ 2015年7月25日』

大津ナカマチ商店街での活動を始め、商店街にある「大津百町館（江戸時代からある町家を見学できるようにした施設）」の方と知り合い、その方の紹介で『百町物語（平成27年4月に発足した、まちづくり会社）さん』の企画会議に参加させていただくようになりました。

『百町物語さん』が主催される商店街イベント「商店街ビアストリート」の企画会議等に7月～8月は毎週のように出席させていただいたことにより、様々な立場・経験・思いを持った商店街の活性化に関わる方々が、どのように合意形成をしながら「商店街ビアストリート」の準備を進めていくかの過程を、経験させていただきました。

その中で自分達のグループも、企画会議において積極的に意見交換をさせていただき、当日は自分達で準備した「ビールのおつまみ（枝豆・冷奴・キムチ）」の販売を「大津百町館」前でさせていただき、約220食という予想以上の売り上げがありました。

「第1回商店街ビアストリート」を通じて、毎週の企画会議への出席、イベント当日の準備・運営・後片付けを行うことにより、商店街に関わる方々と知り合うことができ、また、反省会（懇親会）では、商店街に関わる方々から、思い・悩み・望みなどのお話をじっくりと聞かせていただきました。



(4) 商店街を案内する！ 「外国人旅行者に商店街（大津）を案内する」

『2015年7月 ～ 2015年8月29日』

グループメンバーの中に英会話のできる者が2名（事務局にさらに2名）おり、

- ・全国的に外国人観光客が増加し、大津市においても外国人観光客が増加している。
- ・街の活性化として、観光は、初期費用をかけずに経済効果が期待できる。
- ・外国人観光客がSNSに投稿した1枚の写真が、多くの方の関心を呼び、観光客が増加した事例もある。
- ・地域資源を使った観光により、商店街を含む街の賑わいを創り出すことに成功している地域がある。（長浜市等が成功事例）
- ・大津市は平成27年を、インバウンド（外国人旅行者を受け入れる）元年、と位置付けている。


などの情報を受けて、商店街の活性化のために、外国人観光客の方に商店街に来ていただき、「第2回商店街ビアストリート」を案内するイベントを考えました。

英語のチラシを作成し、京都で外国人観光客が多く宿泊するゲストハウス数か所をまわりチラシを置かせていただき、外国人が多く集まる京都の飲食店で英会話に慣れ、当日は京都駅でイベントの案内を行いました。結果としてイベントへの外国人参加者は0人でした。外国人参加者は0人でしたが、英語でのチラシ作成方法や、外国人観光客が多く宿泊するゲストハウスの存在など、今後につながる手法や情報を得ることができました。

また、おうみ未来塾第10期生グループ「大津まちなかもりあげ隊」として、現在も商店街で活動されている卒業生の参加を得て、大いに交流を図ることができました。


For train travel from Kyoto to Lake-Biwako Only 14 minutes by train


Half-Day Tour: Visit Big Pine Tree and MACHIYA (Japanese Old Traditional House)




There are big pine trees at Karasaki-shrine. Here is one of the eight views. Very scenic and historical. Omi Hakkei (= Shiga has Lake-Biwako)
MACHIYA's name is HYAKUCYOKAN. HYAKUCYOKAN is an old traditional Japanese house.
These are all located in Otsu city, Shiga pref.



DATE	13:30, August 29, 2015
Meeting Place	The clock tower in front west window of the Kyoto station (near the shop of GINJACCO)
Fee	500yen (including Japanese Sweets)
Fare to other	Ticket of train are necessary JR Kyoto-Karasaki 240yen Keihan Ano-HamaOtsu 240yen JR Otsu-Kyoto 300yen
Plan	Kyoto station → KARASAKI STATION We will walk to Karasaki Shrine (10min.) Following the sightseeing, we will walk to Ano station (30min.) Ano station → HamaOtsu station. We will walk to HYAKUCYOKAN (10min.) sightseeing until ~18:00. The beer garden will begin at 18:00 after we finish sightseeing. If it's convenient to you, please participate. Of course, you can go back at 18:00 from Otsu station. By the way, the beer garden is over at 21:00.
Contact us	baseOtsu_cross by Ohmi Network Center for Voluntary Organizations e-mail: baseOtsu_cross@gmail.com Phone: 090-6156-7216 (Tomoya Yamazaki), 050-8530-2654 (Akiko Nishiyama)







Let's join us! Meeting place →

(5) 商店街のニーズを探る！ 100円商店街で「商店街アンケート」

『2015年8月 ～ 2015年9月5日』

商店街を盛り上げるために、何が必要か、何があればまた足を運んでいただけるのか、を調査するために、年3回定期的に開催されている「大津100円商店街」において、アンケートを実施しました。

「大津100円商店街」の主催者の方に、事前にアンケートを行う趣旨と目的を説明し、アンケートを実施する際の場所や留意点（お店の迷惑になるようなことはしない等）をお聞きしてから実施しました。

当日は、会話をさせていただきながら約70名の方から、丁寧な回答をいただくことができました。

- ・アンケートを実施した当日、たまたま商店街の視察に来られていた、京都府下のある商店街の方々からは、「アンケート実施というのとはとても参考になります、私達の商店街においても実施したいと思います、アンケート用紙を持って帰らせていただけないでしょうか」とのお言葉をいただきました。
- ・アンケート結果を集約しグラフ化したものを、「大津100円商店街」の主催者の方々に手渡したところ、「今まで商店街でアンケートというものを実施したことがなく、このようなアンケート集計結果を見たことがなかった、じっくりと目を通させていただきます。」「このように、商店街に来ていただいた方の声を拾ってもらえたのは、ありがたいです。」とお言葉をいただきました。
- ・アンケート実施の様子を当日たまたま見ておられた地元滋賀のラジオ局「ええラジオ A-Radio.jp」の方から後日、「商店街の紹介を行うラジオ番組の企画があるので、そのインターネットラジオ番組に出演していただけませんか」とのお話があり、11月24日に出演し動画がYouTubeにアップされました。
- ・大学で地域活動を教えておられる講師の方から、学生から次のような発言があったという報告をいただきました。「私は、フィールドワーク先の場所として丸屋町商店街を考えています。それは、淡海ネットワークセンターのホームページで、おうみ未来塾のメンバーが丸屋町商店街でアンケート調査などをして、商店街の活性化につなげたいと活動しておられるのを知ったからです。」「私の故郷の商店街は人通りが少なく寂しくなっています、私は故郷の商店街に人が集まり賑やかにしたいので、丸屋町商店街をフィールドワーク先にして、商店街の活性化について学びたいと思います。」

アンケート調査ご協力のお願い

このアンケート調査は、ナカマチ商店街での今後のイベント企画などの参考にするために、行います。それ以外の目的には使用しません。アンケートへの協力を、よろしくお願いたします。

お済み未定 13期生 baseOtsu_cross (ベースオツ・クロス)

- あなたの性別について、教えてください。 男 女
- あなたの年齢について、教えてください。
10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代
60代 70代 80歳以上
- あなたの職業について、教えてください。
商店街関係者 学生 主婦 会社員 アーティスト
アルバイト フリーター その他 ()
- あなたのお住まいの地域について、教えてください。
大津市 栗原市 守山市 栗東市 野洲市 高島市 その他 ()
- 商店街までの交通手段について、教えてください。 **複数回答可**
徒歩 自転車 車 京阪電車 JR バス その他 ()
- 商店街に来られた目的について、教えてください。 **複数回答可**
100円商店街 専席(懇話会) 賑わいを求めて お気に入りの場所があるから
知っている人がいるから その他 ()
- ナカマチ商店街のご利用頻度について、教えてください。
毎日 週に1回 月に2・3回 年に数回 その他 ()
- イベント「100円商店街」のご来場は、何回目ですか。
初めて 2回目 3回目 3回目以上
- どのような方法で、今回のイベント「100円商店街」のことを知りになりましたか。
友人に誘われて 知人からの口コミ facebook インターネット
チラシ ポスター その他 ()
- 商店街で、7月・8月にイベント「ピストリート」の開催があったことをご存知ですか。
知っている 知らなかった 行った 知っているけれど行かなかった
- 今日は、どなたかと一緒にですか。
一人 友人と 家族と その他 ()
- 商店街に、どのようなイベントがあれば面白い(参加しよう)と思われますか。 **複数回答可**
スタンプラリー 生鮮市場 緑日 物産展 手作りマルシェ
子ども向けのイベント 体験型イベント 子ども対象のイベント
その他 ()
- 商店街に荷があったら、また来よう(来たい)と思われますか。
()

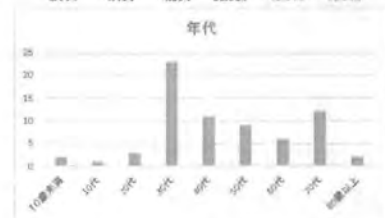
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート実施日 平成27年9月5日 10:30~13:30 baseOtsu_cross
実施方法 ナカマチ商店街 西門市にて随時取り
調査員 松生、前川、藤原、石橋
協力店 喫茶「楽」号三はん、キャラリー加藤さん。 回答 n: 69

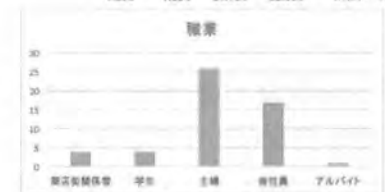
Q1 性別 男性 女性 19 50
27.54% 72.46% 100.00%



Q2 年代 10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
2.90% 1.45% 4.35% 33.33% 15.94% 13.04% 8.70% 17.39% 2.90%

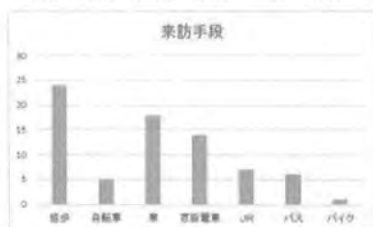


Q3 職業 商店街関係者 学生 主婦 会社員 アルバイト
4 4 28 17 1 52
7.69% 7.69% 50.00% 32.59% 1.92% 100.00%



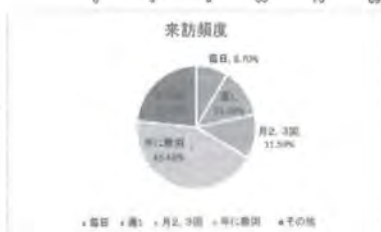
Q4 居住地域 大津市 栗原 野洲
62 1 1 84
95.89% 1.56% 1.56% 100.00%
* 石山、一里山、湯田、聖田、豊山山、三井寺、中央、坂本
その他(湖西市、亀岡市、東京豊橋、河内長野市)

Q5 来訪手段【複数回答可】 徒歩 自転車 車 京阪電車 JR バス バイク
24 5 18 14 7 8 1 75
32.00% 6.67% 24.00% 18.67% 9.33% 8.00% 1.33% 100.00%



Q6 来訪目的 100円商店街 賑わいを求めて お気に入りの場所があるから 知っている人が出ているから
63 2 3 1 69
91.30% 2.90% 4.35% 1.45% 100.00%

Q7 来訪頻度 毎日 週1 月2・3回 年に数回 その他
8 9 8 30 16 69
8.70% 13.04% 11.59% 43.48% 23.19% 100.00%



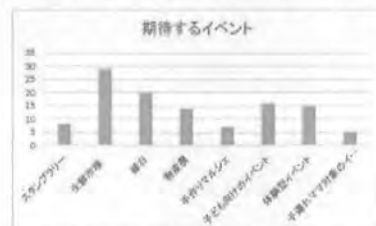
その他 16名(初めて、西門市のみ、週3、4日、30年振り)

Q9 媒体 友人に誘われて 口コミ facebook インターネット 折込チラシ ポスター その他
8 5 1 2 30 9 14 69
11.59% 7.25% 1.45% 2.90% 43.48% 13.04% 20.29% 100.00%

Q10 知っていいから 知らなかった 行った 知っているけれど行かなかった 無回答
10 43 5 5 68
14.71% 63.24% 7.35% 7.35% 7.35% 100.00%

Q11 誰と来たか 一人 友人と 家族と その他(視察、お隣さんと)
10 17 39 66
15.15% 25.76% 59.09% 100.00%

Q12 期待 スタンプラリー 生鮮市場 緑日 物産展 手作りマルシェ 子ども向けのイベント 体験型イベント 子ども対象のイベント
8 29 20 14 7 16 15 114



その他(金魚すくい、子供のゲーム、雀囲い、大道芸、子供体験型イベント、食育、新築、安全な野菜、定期的な毎月30日は何、葉O曜日など、様々な集客体系の確立)

(6) 商店街を盛り上げる！ダンボールアートフェスで「ミニトランポリンイベント」

『2015年9月 ~ 2015年11月14日』

「百町物語さん」が主催される、「商店街ビアストリート」に次ぐイベント、「商店街ダンボールアートフェス」に参画しました。「商店街ビアストリート」は夕方から夜に開催された大人向けのイベントでしたが、「商店街ダンボールアートフェス」は昼間に開催される子ども向けのイベントであり、メンバーが行っている「ミニトランポリン教室」が、「親子で商店街に来ていただき、楽しんでいただく」というイベント開催の趣旨・目的に合致していたため、「大津百町館」で開催しました。

「ミニトランポリンイベント」は、参加者が途切れることなく約40名の方に楽しんでいただき盛況でした。参加してくれた子ども達は、おもいきり身体を動かし楽しそうな表情を見せてくれました。また、親子でミニトランポリンをしながらボール投げをして楽しむ姿を見ることもでき、ミニトランポリン体験後の満足そうな参加者の表情が印象的でした。親子で商店街に来ていただき、楽しい印象を残していただく、という目的を果たすことができたと思います。



☆ミニトランポリンで遊ぼう!! ☆
ダンボールアートフェス in ナカマチアーケード

日時：11月14日(土) 受付：11時、12時、13時、
14時、15時

場所：大津百町館 大津市中央1-9-18 (ナカマチアーケード内)

参加費：300円/1人 所要時間 15~20分程度

対象：幼児〜小学生以上(保護者同伴)
参加：事前申し込み不要です！受付にお越し下さい。
服装：動きやすい服装・運動靴
持物：水筒・タオル

講師：前川に真(まきわ) ひとみ
(トランポリンサイズステップインストラクター)

みんなで、あそびよ

ダンス シンク リズム

主催：base0tsu_cross(おうち未来塾第13期生)
問合せ：base02cross@gmail.com

主催：大津公共空間活用協議会
百町物語
共催：菱屋町商店街振興組合
丸屋町商店街振興組合
大津奈曳山連盟
おうち未来塾13期生base 0tsu cross
後援：大津市・大津市教育委員会
協力：滋賀学区自治連合会
長等学区自治連合会
中央学区自治連合会
彦坂学区自治連合会
平野学区自治連合会



6. グループ活動を終えて

「自分達で商店街のシャッターをこじ開ける」という勢いで挑んだ活動でしたが、実際にはメンバーの日程調整もなかなか難しい状況で、十分な活動ができたか、商店街に関わる方々にほんの少しでも貢献できたか、グループ活動の成果は何か、という問いかけには返事に窮する状況かもしれません。

しかしながら、この1年程の活動により、多くの経験をさせていただき、たくさんの学びと気づきがありました。

一番感じたことは、地域活動は、「人の思い」から始まり、そして一人一人の思いがつながり、「人と人とのふれあい」「人と人とのつながり」ができ、活動の輪が広まっていくということです。

グループ活動を通じて、商店街に関わる方々と知り合えたこと、そしてこれからも商店街の活動に関わりたいと思えたことが、一番の成果です。商店街に関わるすべての皆様に感謝いたします、ありがとうございました。

7. 今後の活動について

大津ナカマチ商店街では、この1年間でも新店舗が数店オープンし、さらに数店のオープンが決まっています。また、2年後には、閉店したスーパーマーケットの跡地に、新しいスーパーマーケットの出店が決まっています。

今後も、さらに多くの方々の笑顔が溢れる商店街をイメージし、グループ名のおり「大津（otsu）の商店街（base、拠点）で、人々が行き交い（cross）、賑わいを創り出す」ための活動を続けていきたいと思えます。



8. 活動の記録

日付	2014年12月14日(日)
場所	ピアザ淡海 会議室
事業等	おうみ未来塾 本講座(グループ作り)
内容等	<p>※5人のメンバーが集まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山寄智也(生協のお兄さん・積極的かつ柔軟なコミュニケーション力) ・西山彰子(ファイナンシャルプランナー・女性の起業を応援する会会長) ・前川仁美(ミニトランポリンの先生・ソロバンの先生) ・川崎慶介(行政マン・防犯活動NPO法人の理事) ・小川健介(公認会計士・長浜JC) 【都合により活動途中で退塾】 <p>※活動場所は、大津の中心市街地・長等学区周辺とすることを決めた。 ※テーマは、「空き店舗」「空き家」とすることを決めた。</p>
日付	2014年12月27日(土)
場所	淡海ネットワークセンター ふらっとルーム
事業等	第1回グループミーティング
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的について、活動方法について、グループ名について ・第10期生「大津まちなかもりあげ隊」の成果報告書の内容について
日付	2015年1月6日(火)
場所	淡海ネットワークセンター ふらっとルーム
事業等	第2回グループミーティング
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的について、活動方法について、グループ名について
日付	2015年1月11日(日)
場所	滋賀県立大学サテライト アルプラザ6階
事業等	おうみ未来塾 本講座(グループ活動地域について学ぶ)
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土史、総合計画、都市計画マスタープランをもとに大津市の特徴を調査。 ・大津の中心市街地・長等学区周辺について調べ、三井寺を中心にお寺が多くあり、商店街があることを知った。
日付	2015年1月18日(日)
場所	大津市市民活動センター
事業等	第3回グループミーティング
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的について、活動拠点について ・「大津百町館」の方への挨拶と説明。 ・1月16日の「ナカマチ商店街に、株式会社百町物語が設立され、商店街に活気を取り戻す事業を展開する。」という新聞報道について情報を共有した。 ・今後、百町物語の活動内容について着目し、活動に参画させていただく方法について協議した。

日付	2015年1月31日(土)
場所	淡海ネットワークセンター ふらっとルーム
事業等	第4回グループミーティング
内容等	・活動目的について、活動拠点について、活動方法について ・グループ名を決定した
日付	2015年2月3日(火)
場所	大津市市民活動センター
事業等	「大津まちなかもりあげ隊」との合同ミーティング
内容等	・「大津まちなかもりあげ隊」の活動内容等について ・3月14日「びわ湖開き」の「大津まちなかうオーキング」について
日付	2015年2月7日(土)
場所	長等学区自治連合会 会長宅
事業等	長等学区自治連合会の会長に挨拶
内容等	・メンバー1名が、活動目的・活動方法等について概要説明を行った。
日付	2015年2月7日(土)
場所	淡海ネットワークセンター ふらっとルーム
事業等	おうみ未来塾 代表者会議
内容等	・メンバー1名が出席、目標発表会について協議
日付	2015年2月15日(日)
場所	大津市市民活動センター
事業等	第5回グループミーティング
内容等	・塾長より事務局を通じて、「活動計画書に目を通しましたが、活動内容のビジョンが大きすぎて、具体性に欠けるのではないですか。」という旨のアドバイスを受けた。 ・アドバイスを受けて、グループ内で活動内容について協議を行い、具体的な活動内容を「商店街の活性化」にしぼることとした。
日付	2015年2月15日(日)
場所	ながらの座・座、三井寺
事業等	「歴まち大津の未来を考える会」のイベントに参加
内容等	・「ながらの座・座」さん主催。 ・「美ジュアルコミュニケーション ぐるうぶ・ふき」の方と出会う。 ・三井寺の執事より講義を受け、法明院(三井寺)を散策した。 ・三井寺から商店街及びその周辺地域の地理・位置関係を確認した。
日付	2015年2月28日(土)
場所	淡海ネットワークセンター 会議室
事業等	グループ活動目標発表会
内容等	・塾長及びアドバイザーより、「商店街で何かをやろうとしていることは分かりましたが、具体的に何をやるのか分からない。」「商店街はテーマとしては重要です。」という旨のアドバイスを受けた。

日付	2015年3月7日(土)
場所	ナカマチ商店街(大津曳山展示館、大津百町館、まちなか交流館 他)
事業等	第6回グループミーティング
内容等	※大津100円商店街を視察し、「大津曳山展示館」「大津百町館」「NPO法人マイママ・セラピー」「いいね!大津~夢・観光」の方からお話を聞いた。 ※具体的な活動内容・活動拠点・活動計画について
日付	2015年3月14日(土)
場所	ナカマチ商店街周辺
事業等	「大津まちなかウォーキング」のお手伝い
内容等	・おうみ未来塾第10期生「大津まちなかもりあげ隊」のメンバーの方々にガイドしていただきながら、商店街周辺の街歩きを行った。 ・おうみ未来塾卒業生の活動を、実際に見て学んだ。
日付	2015年4月4日(土)
場所	淡海ネットワークセンター 会議室
事業等	おうみ未来塾 本講座(グループ活動における合意形成について学ぶ)
内容等	・自己分析とグループとしての実力の発揮度合をチェック。 ・個人と組織の関係性や、コミュニケーション方法について学んだ。
日付	2015年4月11日(土)
場所	ナカマチ商店街
事業等	商店街でヒアリング
内容等	※大津100円商店街への参加方法等について ※「藤屋内巧」「丸二果実店」「百町物語」の方からお話を聞いた
日付	2015年4月19日(日)
場所	明日都交流ルーム
事業等	「大津まちなかもりあげ隊」との合同ミーティング
内容等	・「大津まちなかもりあげ隊」が持つ情報を教えていただいた。 ・今後のグループ間連携について議論を行った。
日付	2015年4月26日(日)
場所	明日都交流ルーム
事業等	第7回グループミーティング
内容等	・活動目的は、「大津ナカマチ商店街に賑わいを創り出す」とした。 ・活動方法は、「大津絵を使ったワークショップ等」とした。
日付	2015年4月26日(日)
場所	ナカマチ商店街
事業等	百町物語オープニングイベント視察
内容等	・「大津曳山展示館」「大津百町館」の方からお話を聞いた。

日付	2015年4月29日(木)
場所	ナカマチ商店街「大津百町館」
事業等	情報収集
内容等	・「大津百町館」の方からお話を聞いた。
日付	2015年5月9日(土)
場所	ナカマチ商店街「大津百町館」
事業等	イベントのお手伝い
内容等	・イベントのお手伝いをした。
日付	2015年5月17日(日)
場所	大津市市民活動センター
事業等	「大津まちなかもりあげ隊」との合同ミーティング
内容等	・「大津絵ワークショップ計画」について報告を行った。 ・相互に、イベントに参加していただくことをお願いした。
日付	2015年5月17日(日)
場所	大津市市民活動センター
事業等	大津中心市街地活性化協議会の方との面接
内容等	・大津絵を使ったイベントの事例について、説明を受けた。 ・大津絵街歩きイベントとの連携を模索。
日付	2015年5月24日(日)
場所	大津市歴史博物館
事業等	学芸員さんとの面接
内容等	・大津絵を使ったイベントを開催する際の、大津絵の著作権や使用上の注意点等についてお話を聞いた。 ・大津絵の歴史や、これまでに行われた大津絵の様々なイベントやワークショップについて、説明を受けた。
日付	2015年5月31日(日)
場所	蟬丸神社
事業等	第1回関蟬丸神社芸能祭のイベントお手伝い
内容等	・関蟬丸神社及びその周辺において、イベントのお手伝いを行った。
日付	2015年6月6日(土)
場所	大津ナカマチ商店街及びその周辺
事業等	大津100円商店街を視察
内容等	・大津100円商店街スタンプラリーに参加し、大津ナカマチ商店街周辺地域の視察を行った。 ・「まちなか交流館 ゆうゆうかん」において、大津絵ワークショップの練習を行った。

日付	2015年6月17日(水)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	商店街アーケード内イベント実行委員会への出席
内容等	※会議において次の方針が示された。 ・7月から月1回はイベントを開催していく。 ・7月25日(土)・8月29日(土)に、商店街内でイベントを開催する。 ・9月は大津100円商店街、10月は大津祭があるので、11月からまた月1回イベントを開催していく。
日付	2015年6月21日(日)
場所	ピアザ淡海 会議室
事業等	全体塾生会・中間報告会リハーサル
内容等	中間報告会配布資料の作成・プレゼン内容の打ち合わせ
日付	2015年6月28日(日)
場所	ピアザ淡海 会議室
事業等	グループ活動中間報告会
内容等	プレゼンを行い、塾長・アドバイザーからコメントをいただいた。
日付	2015年7月1・8・15・22日(水)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	第1回ナカマチ・アーケード・ビアストリート企画会議への出席
内容等	・7月25日開催イベントに向けた、企画・運営について協議。
日付	2015年7月25日(土)
場所	大津ナカマチ商店街
事業等	第1回ナカマチ・アーケード・ビアストリート
内容等	・おつまみ(枝豆、冷奴、キムチ)の販売で、イベントを盛り上げた。
日付	2015年7月29日(水)
場所	唐崎神社・マクドナルド坂本店
事業等	唐崎神社「みたらし祭」見学・グループミーティング
内容等	・唐崎神社において、8月29日に開催する「外国人観光客と歩く大津(仮称)」事業のための下見を行い、チラシづくりのための打ち合わせを行った。
日付	2015年8月1日(土)
場所	JR唐崎駅→唐崎神社→京阪穴太駅
事業等	「外国人観光客と歩く大津(仮称)」企画の下見
内容等	・「外国人観光客と歩く大津(仮称)」のための下見を行った。
日付	2015年8月5日(水)
場所	ジャスコ西大津店内の喫茶店
事業等	グループミーティング
内容等	・8月29日に開催する「外国人観光客と歩く大津(仮称)」のチラシづくりのための打ち合わせを行った。

日付	2015年8月9日(土)
場所	旧大津公会堂 2階会議室
事業等	第1回ナカマチ・アーケード・ビアストリート反省会
内容等	・第1回ナカマチ・アーケード・ビアストリートに関わった方々との懇親会 ・第2回ナカマチ・アーケード・ビアストリートを8月29日に開催。
日付	2015年8月12・19・26日(水)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	第2回ナカマチ・アーケード・ビアストリート企画会議への出席
内容等	・8月29日開催イベントに向けた、企画・運営について協議。
日付	2015年8月12日(水)
場所	石窯(商店街の近く)
事業等	グループミーティング(企画会議終了後)
内容等	・「外国人観光客と歩く大津(仮称)」事業のチラシづくりの打ち合わせを行った。
日付	2015年8月19日(水)
場所	ブロッコリー(商店街内)
事業等	グループミーティング(企画会議終了後)
内容等	・「外国人観光客と歩く大津(仮称)」事業のチラシづくりの打ち合わせを行った。
日付	2015年8月22・23日(土・日)
場所	京都市内のゲストハウス5か所
事業等	「外国人観光客と歩く大津」のチラシ設置依頼
内容等	・「外国人観光客と歩く大津」事業のチラシを置いてもらうよう依頼。
日付	2015年8月26日(水)
場所	一番(ナカマチ商店街近くの居酒屋)
事業等	グループミーティング(百町物語企画会議の終了後)
内容等	・「外国人観光客と歩く大津」事業の打ち合わせを行った。
日付	2015年8月28日(金)
場所	国際交流会館・『A』
事業等	「外国人観光客と歩く大津」のチラシ作り・イベント参加勧誘
内容等	・「外国人観光客と歩く大津」のチラシ展示及び参加勧誘を行った。
日付	2015年8月29日(土)
場所	京都駅～唐崎～浜大津～大津ナカマチ商店街
事業等	外国人観光客と歩く大津 第2回ナカマチ・アーケード・ビアストリート
内容等	・「外国人観光客と歩く大津」の参加者がおられなかったため、大津百町館において、イベントの手伝いを行った。

日付	2015年9月3日(木)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	百町物語アイデア会議
内容等	・10月10日大津祭宵宮の大津百町館でのイベントのお手伝いをする ・11月14日にダンボールアートフェスを開催
日付	2015年9月5日(土)
場所	大津ナカマチ商店街
事業等	大津100円商店街においてアンケート調査
内容等	・約70名の方にアンケートの協力をいただいた。
日付	2015年9月9日(水)
場所	豆藤本店 2階食堂
事業等	第2回商店街ビーストリート反省会
内容等	・今後の商店街でのイベント予定等について
日付	2015年9月10日(木)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	百町物語企画会議
内容等	・今後の商店街のイベントについて
日付	2015年9月17日(木)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	百町物語企画会議
内容等	・11月14日のイベントについて
日付	2015年9月17日(木)
場所	さと西大津店
事業等	グループミーティング(企画会議終了後)
内容等	・今後の活動予定等について
日付	2015年9月30日(水)・2015年10月1・8日(木)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	商店街における企画会議への出席
内容等	・11月14日のイベントについて
日付	2015年10月10日(土)
場所	大津百町館(菱屋町商店街内)
事業等	大津祭宵宮イベントのお手伝い・グループミーティング
内容等	・今後のグループの活動予定等について
日付	2015年10月20日(火)
場所	ガスト堅田店
事業等	グループミーティング
内容等	・11月14日のイベント「ミニトランポリンで遊ぼう!!」のチラシ作成 ・成果報告書の内容について、次回10月24日のグループミーティングで整理して、まとめていく。

日付	2015年10月24日(土)
場所	大津市市民活動センター
事業等	グループミーティング
内容等	・11月14日のイベント「ミニトランポリンで遊ぼう!!」について ・成果報告書の内容について協議
日付	2015年11月5・12日(木)
場所	(株)百町物語 事務室 (菱屋町商店街内)
事業等	商店街における企画会議への出席
内容等	・11月14日のイベント「ミニトランポリンで遊ぼう!!」について ・会議終了後、成果報告書の内容について協議
日付	2015年11月14日(土)
場所	大津ナカマチ商店街
事業等	第1回ダンボールアートフェスでのイベント開催
内容等	・「ミニトランポリンで遊ぼう!!」の企画運営 ・イベント終了後、商店街内の喫茶店で、成果報告書の内容について協議
日付	2015年11月24日(火)
場所	大津ナカマチ商店街
事業等	地元滋賀のラジオ局「ええラジオ A-Radio.jp」に出演
内容等	・ラジオ番組に出演し、商店街・おうみ未来塾の案内を行った。
日付	2015年12月6日(日)
場所	ピアザ淡海 会議室
事業等	全体塾生会・成果発表会リハーサル
内容等	成果発表会配布資料の作成・プレゼン内容の打ち合わせ
日付	2015年12月12日(土)
場所	ピアザ淡海 会議室
事業等	グループ活動成果発表会
内容等	<p>※約20分の発表後、商店街の活動に関わる3名の方からいただいた、発表に対するコメント要旨。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時には人が集まるが、それ以外の日にどのようにしたら人が集まるのかが課題とのことですが、イベント開催日以外の日商店街に人が集まる方法について何か案はありますか。 ・半年前に大津に引っ越してきました、発表を聞かせていただき大津や商店街のことに興味を持ち、大津での暮らしが楽しみになりました。 ・商店街の活動に関わっており、ボックスの皆さんと一緒に商店街での活動をしてきましたが、実際の活動より控えめに発表されていました。

内 容 等	<p>※塾長・アドバイザーからいただいた、発表に対するコメント要旨。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化は、全国共通で困難な課題である。 ・商店街活性化のための様々な活動を、分解して取り組んでいた。 ・地元の方々から評価されているのは、大きな意味があった。 ・商店街の活性化は、個店の魅力のアップ以外に王道はないのではないか、そこに刺激を与えるようなつながりができるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・昨日商店街に行き地元の方からお話を聞いてきた、まさにこのような活動のニーズがあると感じた。 ・メンバーのチャレンジが、どこにどのようにつながっていくのかという見通しが出来てから活動を進めると、グループにとっても商店街にとっても良かった。 ・商店主だけでなく、住民・利用者の視点から、商店街が必要だという認識を醸成する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国47都道府県の県庁のある駅前で、大津駅ほど魅力のない駅は珍しい、しかし商店街も含めて駅前から琵琶湖までの人の流れを作り出すことができれば、全国で一番魅力ある駅になる、最高のポテンシャルをもっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・50の方に聞かせてもらった話とアンケートの最後の自由意見の中に商店街活性化のためのヒントがあるのではないか。そこを突き詰めるだけでも大きな意味があるのではないか。そこを突き詰めることによって、次の展開があるのではないかと思われる。
-------	---

淡海ネットワークセンター事務局より



事務局長

歌代 泰和



事務局次長

徳本 次夫

卒塾おめでとうございます

おうみ未来塾第13期生のみなさん、卒塾おめでとうございます。1年半にわたるフィールド研修やグループ活動において、大きな成果を上げられたこと、たいへんお疲れさまでした。

これまで数少ない人口増加県であった滋賀県もついに人口減少局面に入りました。今後ますます複雑化する地域課題や市民ニーズの多様化に対応するため、滋賀県ではこれまで以上に県民、企業、行政など様々な主体の対話と協働による地域運営を進めようとしています。そのためには、市民力をベースにした事業力とネットワーク力を持つ地域人材、すなわち地域プロデューサーの存在が求められます。

卒塾を終わりとせず、今後も息の長い活動を継続され地域プロデューサーとして活躍されますことを期待しております。



事務局スタッフ

澤 孝彦

楽しみながら、活動をしていきましょう！！

13期生の皆さん、卒塾おめでとうございます。

どのような活動でもまずは自分が楽しむことができるかどうか大切です。グループ活動でもまずグループメンバーがそれぞれ楽しみながらやってきたかが、そのグループの成果につながっていったと思っています。

グループ活動は期間も限られているので、ある一定の成果を出すことはたいへんエネルギーが必要であったと思います。

地域づくりはあくまで一つ一つの積み重ねであります。地域づくりの目的、目標に向かってどのように考え、話し合い、行動したかというそのプロセスが充実していれば、必然と成果につながり、多くのことを語らなくてもみんなにもわかり、それが地域に波及していくものと思います。

今後は、地域プロデューサーとして、更なるご活躍を心からお祈りしています。

～いつでも夢を～

卒塾おめでとうございます。1年半の活動大変疲れ様でした。楽しかったことや辛かったこと、よく知らない者どおしが集まり活動する中、思うようにならない葛藤もあったことと推察します。地域プロデューサーを目指すという高い志と情熱、そして何かと制約の多い中、立派に卒塾されましたことに対し、改めて敬意を表したいと思います。年末に懐メロの歌番組で橋幸夫の「いつでも夢を」を聞きました。今から50年以上も前の歌ですが、今聞いてもいい歌だなあとと思います。人は皆、何歳になっても夢や希望がないと前向きに人生を送ることができません。皆さんも入塾した時の志や仲間を大切に、貴方の夢と、そして夢と希望に満ちた未来を実現していくために、今後のご活躍をご期待申し上げます。



事務局スタッフ

北村 欣見子

ご卒塾おめでとうございます

おうみ未来塾13期生のみなさん、ご卒塾おめでとうございます。

地域、年齢、仕事、これまでの活動などが異なるみなさんが、夜遅くまで準備や議論をされていた様子を拝見しまして、「未来塾」はとても熱心な方々が集まっておられると感じました。

地域は今、少子化、高齢化、過疎化などの課題を抱えています。かつてにぎやかだった都市部においても空洞化の現象があらわれています。未来塾を巣立たれたみなさんは、このような地域課題の解決になくてはならない存在なのではないでしょうか。

今後の益々のご活躍をお祈りしています。



事務局スタッフ

牧野 利花

ご卒業おめでとうございます。

13期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

1年と6か月、座学での学び、地域での学び、そしてグループ活動と本当におつかれさまでした。私は高島市針江でのフィールドワークにご一緒させていただいたのですが、ガイドの方のお話を熱心に聞き、1つでも何かを得たいと積極的に質問をされておられるみなさんのお姿を見て、「さすが、未来塾生さん!」と感激いたしました。

仕事と家庭と塾活動の両立は大変だったことと思います。それでもみなさんがご卒業されたということは、入塾時の思いをずっと持ち続けられたからこそだと思えます。

これからも思いを大切に、みなさんがそれぞれの地域でますます活躍されますことを心よりお祈りしております。



事務局スタッフ

日下部 純子

卒業おめでとうございます。
これからですね (*^_^*)

13期の皆さんの基礎実戦コースが始まって間もない頃、淡海ネットワークセンターで勤務するようになりました。8期を卒業した私にとって「おみ未来塾」は、ワクワクするところ。皆さんの活動をお手伝いするにつけ、自身もワクワクしている事を感じました。地域の課題?何が出来る?等々、それまで見ず知らずの人達と、見えてこない答えに対して真剣に議論し行動すること自体が、日常生活では経験出来ない貴重な経験で、卒業してからもずっとこの感覚が残っています。今後卒業された皆さんも日々の生活の何気ない場面で、或いは何か課題に直面したとき、2年間の学びから得られた様々な資源が動き活かされて、未来塾で学ばれたこの感覚を感じられるのじゃないかなと思います。これからも楽しみですね。



事務局スタッフ

石黒 みか

進化し続ける 地域プロデューサーとして

第13期生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。地域プロデューサーを目指す仲間と共に、おみ未来塾で学ばれたことを、すぐさま活動に生かしていかれた皆さんの姿を、とても眩しい思いで見えていました。塾生として過ごされた色々な場面が、昨日のことのよう思い出されます。入塾式の少し緊張されていた様子、地域の方に想いを伝える時の真剣な眼差し、グループ内で意見が衝突した時の重苦しい空気、地域の方と一緒に笑う姿など…。

17名それぞれに、思い描かれる地域プロデューサー像は異なると思います。皆さんが、キラリと光る個性を生かしながら、卒業後も更なる進化を続け、地域プロデューサーとして、それぞれの地域でご活躍されることをお祈りしております。



卒塾の言葉

平成26年6月8日に、おうみ未来塾に入塾してから、一年半のカリキュラムを終えました。

私達はこの一年半の間に、仲間と共に、また、地域の方々と共に、いろいろな経験をしました。最初の半年間の基礎実践コースでは、滋賀県内で地域活動の実績がある諸先輩方を訪問し、目で見て、お話を聞き、心で感じることができました。「地域資源」の最たる物は、やはり“人”であることを学びました。

平成27年1月からの創造実践コースでは、グループに分かれての地域活動を行いました。塾生同士で創意工夫し、私達ならではの「地域プロデュース」を実践することができました。その過程で、地域の方々とご縁を結べたこと、それこそが私達の宝となりました。

そして平成27年12月12日に卒塾しました。卒塾後は、塾生として関わった地域をプロデュースする者、自分の地元をプロデュースする者、または、日本各地の地域をプロデュースする者、様々かと思いますが、おうみ未来塾で学んだことを心に留めて活躍をしていきたいと思えます。

最後になりましたが、これまで時には優しく、時には厳しく真摯にご指導くださいました、塾長・アドバイザーの先生方、事務局の皆様、第12期までの卒塾生の皆様、そして、私達を暖かく迎え入れてくださった地域の皆様、皆様と出会い、お力添えをいただいたお陰で、私達は「地域プロデューサー」のスタートラインに立つことができました。卒塾生を代表して、お礼を申し上げます。本当に、ありがとうございました。

おうみ未来塾第13期卒塾生
代表 中井あけみ



タイトルに込めた想い

- ・「地域プロデューサーを目指す」を唯一の共通点に、住んでいる所・活動している分野・職業・世代が異なる者が入塾式で始めて顔を合わせました。塾生の期間中は、正直なところ「地域プロデューサーとは？」について考える余裕がありませんでしたが、卒塾してからずっと考え続けていきたいという想いから、北村裕明塾長が、講義で何度も述べられていた、「地域をプロデュースするとは」をタイトルにしました。
- ・前塾長である故：日高敏隆先生の、おうみ未来塾第2期生入塾式記念講演「おうみって何？ 未来って何？」からの抜粋も、ここに書き留めておきます。

Think globally Act locally という標語があるんです。要するに地球を考える。グローバルに考えて、ローカルに行動するとなっておりますが、僕から言うところではないのです。ローカルに考えて、ローカルに行動したらいいんです。それを全部徹底してやったら、そのローカルは必ずグローバルになるんです。逆に言うと、地域できちんとやったときにこそグローバルになる。地域をいい加減にしたらグローバルになりません。だから、僕はあの言葉は、Think locally Act locally でいいんじゃないか。そしたらまさに、It becomes globally というふうにとぶんなるだろう。

表紙、裏表紙について

- ・1年半の活動の中で、おうみ共通のそして最高の「地域資源」は、やはり「琵琶湖」であると改めて気づきましたので、琵琶湖をイメージしたものにしました。
- ・表紙の写真は、伊藤大輔さんが、彦根市松原町湖畔で撮影したものです。
- ・裏表紙の写真は、近松慶孝さんが、野洲市あやめ浜で撮影したものです。

編集委員長 川崎慶介

編集後記

第13期生の成果報告書は、次のコンセプトを基に編集しました。

- ・おうみ未来塾のことを知らない方に、おうみ未来塾のことを知っていただく。
- ・第13期生の活動において、お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝える。
- ・第12期までの卒塾生、第13期卒塾生、今後の入塾生をつなぐものとする。
- ・第13期生のメンバー紹介 及び 活動記録。

この成果報告書を手にとったことがきっかけで、おうみ未来塾のことを知り、地域活動・市民活動を始める方がおられたら幸いです。

編集委員一同

おうみ未来塾第13期生 成果報告書
「～地域をプロデュースするとは～」

- 発行年月 ● 2016年3月
企画・編集 ● おうみ未来塾第13期生
発行元 ● 淡海ネットワークセンター
(公益財団法人 淡海文化振興財団)
住 所 ● 〒520-0801
滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
T E L ● 077-524-8440
F A X ● 077-524-8442
E - m a i l ● office@ohmi-net.com
U R L ● <http://www.ohmi-net.com/>

